

令和8年度

地区別防災研修会

災害への備え

～令和8年度の取組～

鹿児島市 危機管理局 危機管理課

【本日の説明内容】

1 災害の実態を知る

- (1) 本市で想定される主な災害
- (2) 過去の災害から学ぶ

2 災害時にとるべき避難行動

- (1) 新たな防災気象情報
- (2) かごしま i マップ
- (3) 防災情報の入手
- (4) ご家庭での災害への備え

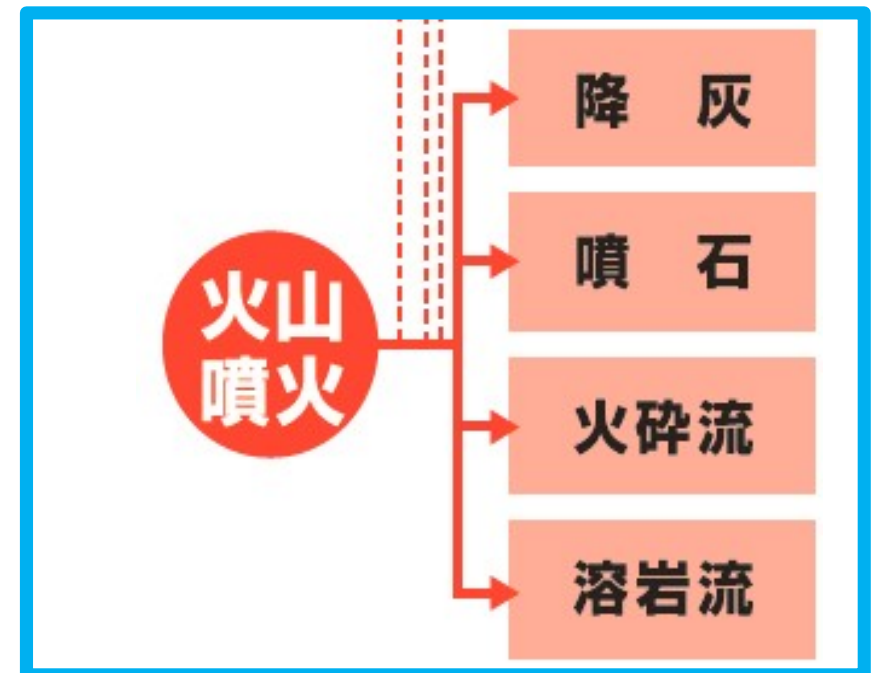
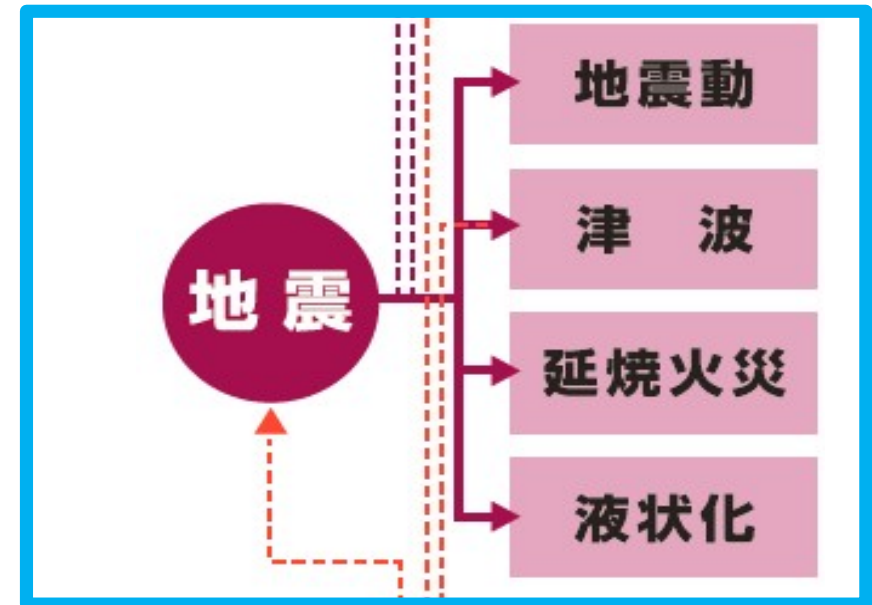
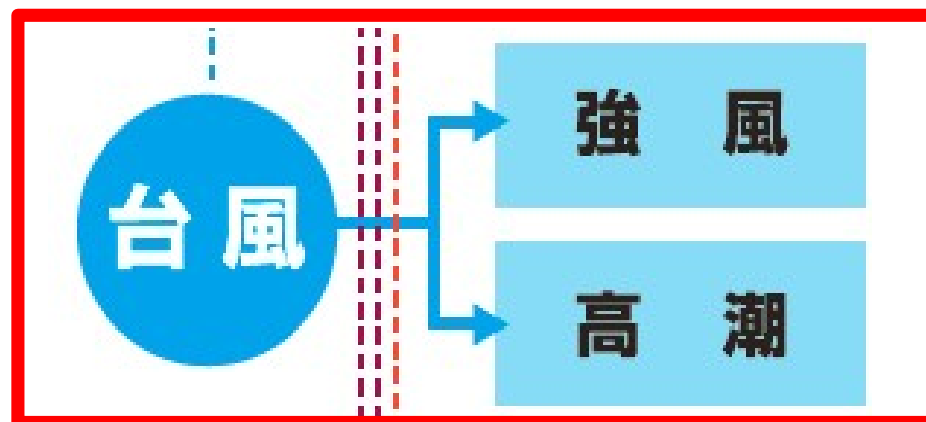
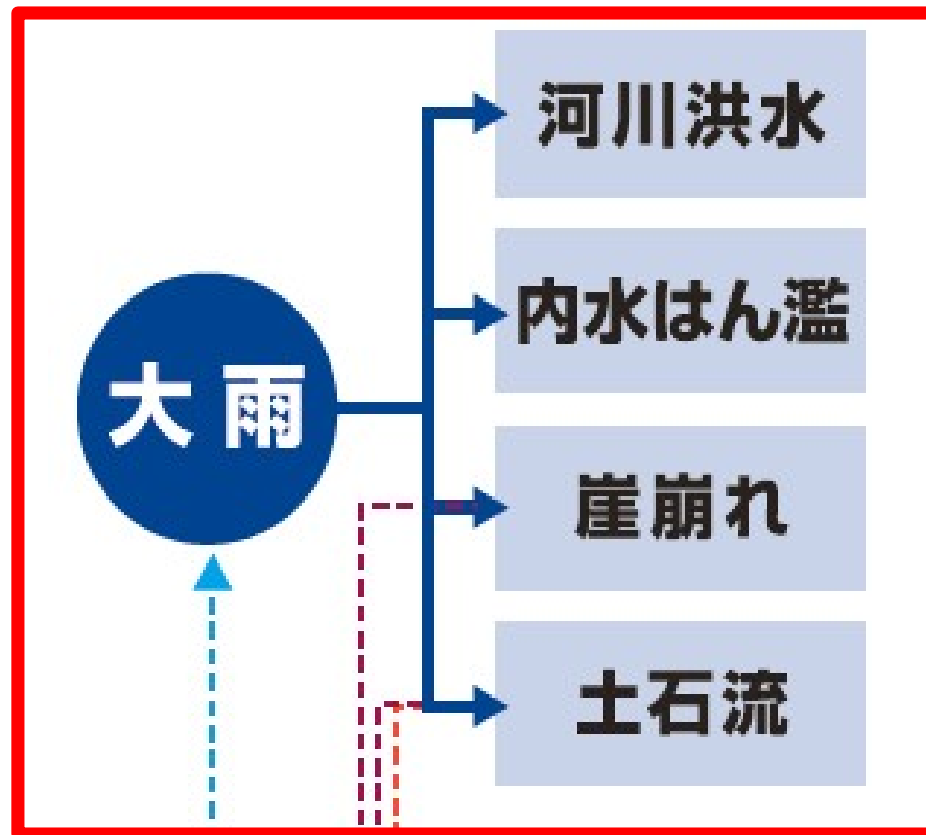
3 令和8年度の実施

- (1) 避難行動要支援者支援制度
- (2) 防災ラジオ
- (3) 自主防災組織
- (4) 桜島の大規模噴火に備えた市街地側住民の広域避難
- (5) 桜島火山爆発総合防災訓練(避難所体験・展示訓練)

1 災害の実態を知る

(1) 本市で想定される主な災害

◆本市で想定される災害の種別



1 災害の実態を知る

(2) 過去の災害から学ぶ

平成5年 8・6豪雨災害

8・6豪雨災害(平成5年)



土砂災害

吉野町（花倉地区）

8・6豪雨災害(平成5年)



浸水被害

天文館地区

8・6豪雨災害・台風13号 被害の状況

○ 8・6豪雨災害 鹿児島市における主な被害

被害区分	被害量	被害区分	被害量	被害区分	被害量
死者	<u>47人</u>	住家全壊	<u>284棟</u>	住家床上浸水	<u>9,091棟</u>
行方不明者	<u>1人</u>	住家半壊	183棟	住家床下浸水	1,999棟
重傷者	8人	住家一部損壊	541棟		
軽傷者	44人				

○ 台風13号 鹿児島市における主な被害

被害区分	被害量	被害区分	被害量	被害区分	被害量
中等傷者	5人	住家全壊	13棟	住家床上浸水	<u>480棟</u>
軽傷者	20人	住家半壊	119棟	住家床下浸水	928棟
		住家一部損壊	<u>8,937棟</u>		

令和7年8月 台風第12号

令和7年台風第12号(8月22日予報)

8月22日00時



令和7年台風第12号(本市の被害状況)



和田小学校付近

令和7年台風第12号(本市の被害状況)



和田3丁目付近

令和7年台風第12号(本市の被害状況)



和田3丁目付近

令和7年台風第12号(本市の被害状況)

人的被害(人)

死者	行方不明者	重傷者	軽傷者
1	0	0	4

住家被害(件)

全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
0	2	13	15	29

令和6年1月 能登半島地震

能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況（建物の倒壊、町の様子）



能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況(家屋等の倒壊)



能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況(土石流)



能登半島地震の被害状況

■ 輪島市の被害状況(火災)



能登半島地震の被害状況

人的・住家被害の状況

(令和8年3月31日時点)

都道府県	人的被害							住家被害						非住家被害		
	死者	うち 災害 関連 死	行方 不明者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上 浸水	床下 浸水	一部 破損	合計	公共 建物	その 他	合計
				重傷	軽傷	小計										
	人	人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟			
秋田県												1	1			
福島県												1	1			
埼玉県												2	2			
新潟県	6	6		11	43	54	60	111	4,163		14	21,264	25,552		68	68
富山県	8	8		15	46	61	69	258	809			21,751	22,818		2,694	2,694
石川県	706	478	2	401	876	1,277	1,985	6,167	18,723	6	5	91,670	116,571	443	38,079	38,522
福井県					6	6	6		12			830	842		10	10
長野県												21	21			
岐阜県					1	1	1					2	2		1	1
愛知県					1	1	1									
京都府												2	2			
大阪府					5	5	5									
兵庫県					2	2	2					1	1			
合 計	720	492	2	427	980	1,407	2,129	6,536	23,707	6	19	135,545	165,813	443	40,852	41,295

※内閣府ホームページより

平成28年4月 熊本地震

平成28年熊本地震



益城町の住宅街

平成28年熊本地震



熊本市内の大型スーパー

平成28年熊本地震



大規模な地すべりが発生

南阿蘇村

平成28年熊本地震

耐震化 未



耐震化 済



東海大学 阿蘇校舎

熊本地震の被害状況

人的・住家被害の状況

(平成29年3月14日時点)

都道府県名	死者（人）	重傷（人）	軽傷（人）
福岡県	—	1	16
佐賀県	—	4	9
熊本県	208	1,123	1,552
大分県	3	11	22
宮崎県	—	3	5
合計	211	1,142	1,604

都道府県名	住宅被害（棟）			非住家被害（棟）		火災（件）
	全壊	半壊	一部損壊	公共建物	その他	
山口県			3			
福岡県		4	251			
佐賀県			1		2	
長崎県			1			
熊本県	8,673	33,432	144,402	439	10,590	15
大分県	9	222	8,070		62	
宮崎県		2	21			
合計	8,682	33,600	152,749	439	10,654	15

計 195,031

令和7年度 鹿児島市における 避難指示等の発令実績

令和7年度の避難指示等の発令実績

日付		6/9-10 (大雨)	6/10-11 (大雨)	8/7-9 (大雨)		8/10-11 (大雨)	8/21-22 (台風)
地域	発令	高齢者等避難	避難指示	避難指示	緊急安全確保	高齢者等避難	避難指示
地域	中央	○	○	○	—	○	○
	吉野	○	○	○	—	○	○
	伊敷	○	○	○	—	○	○
	谷山	○	○	—	—	○	○
	桜島	○	○	○	—	○	○
	吉田	○	—	○	—	○	○
	郡山	○	—	○	—	○	○
	松元	○	○	○	—	○	○
	喜入	○	—	—	—	○	○
河川流域	全河川	○	—	—	—	○	—
	思川	○	—	—	○	○	—
	本名川	○	—	—	○	○	—
	新川	○	—	—	—	○	○
	和田川	○	—	—	—	○	○

2 災害時にとるべき 避難行動

(1) 新たな防災気象情報

新たな防災気象情報

●令和8年5月29日から防災気象情報が新しくなります

	気象台が発表する防災気象情報			市が発令する 避難情報	(警戒レベルごとの) 市民が取るべき行動
	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れ や土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打ち上げによる浸		
警戒レベル 5相当	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
=====警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難=====					
警戒レベル 4相当	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	高齢者等避難	避難に時間を要する人 は早めに避難 避難の準備 など
警戒レベル 2相当	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報		避難行動を確認(避難 場所や避難ルート、避難の タイミングなど)
警戒レベル 1相当	早期注意報				災害への心構えを 高める

市が発令する避難情報は変更ありません

～警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！～

避難情報のポイント

●避難情報の通知方法

	緊急速報 メール	防災ラジオ	防災行政無線 戸別受信機	テレビ・ラジオ 登録制メール 市LINE
	市内全域に発報	対象地域に発報		
高齢者等避難	×	△ (旧5町の地域のみ対象のときは配信なし)	○	○
避難指示	○	○	○	○
緊急安全確保	○	○	○	○

一部地域の発令でも
全市に通知！

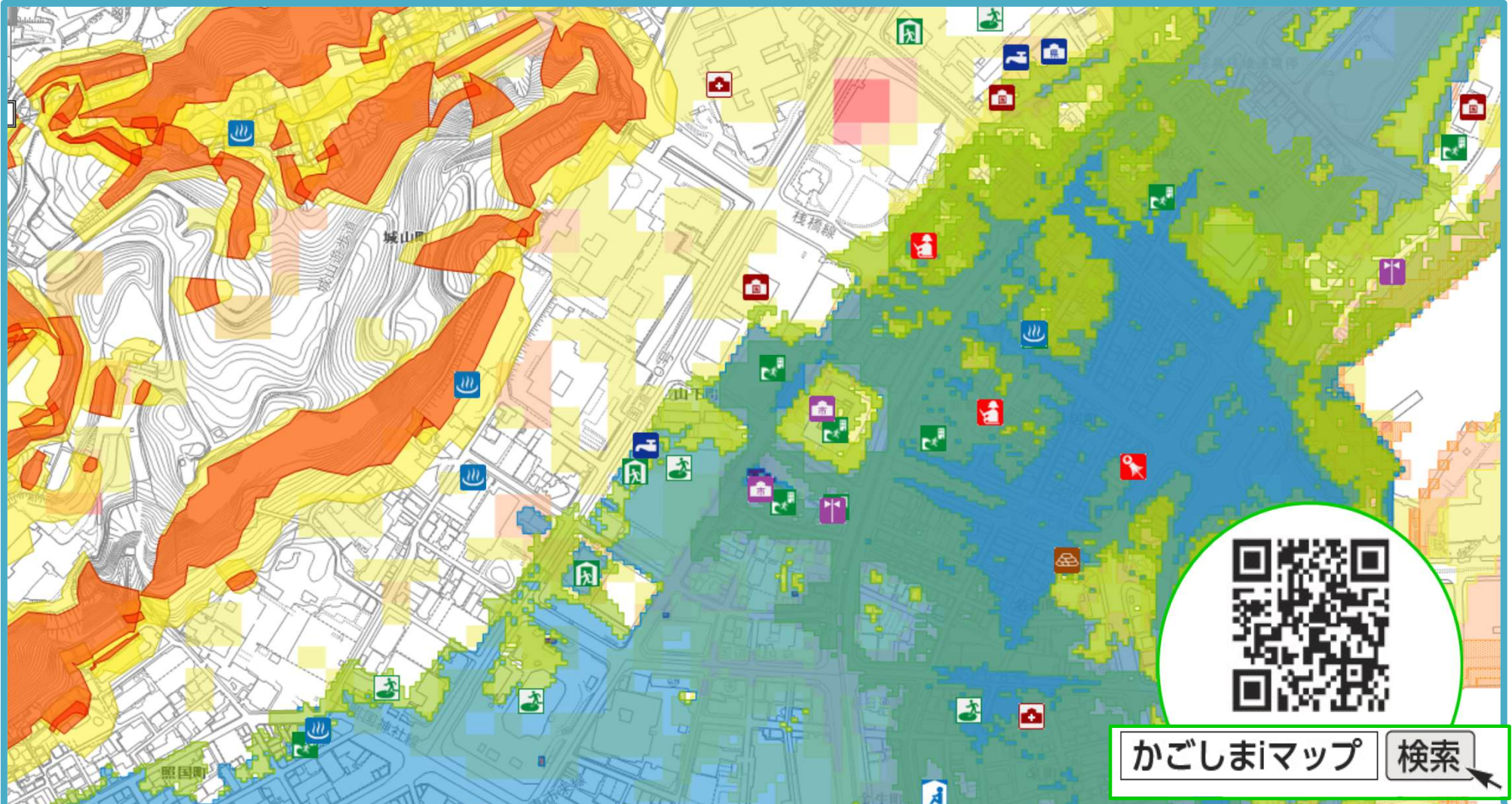
緊急速報メール(エリアメール)は、
令和8年度から「**避難指示**」と「**緊急避難確保**」の発令の
タイミングで通知されます。
今回の整理に伴い、「**土砂災害警戒情報**」の緊急速報メ
ールでの送信は無くなります。



2 災害時にとるべき 避難行動

(2) かごしま i マップ

かごしまiマップ



自宅の危険度を確認

(スマホやタブレットなどを使用)

⇒ 「自宅避難」か「自宅外避難」か判断しましょう！



土砂災害について

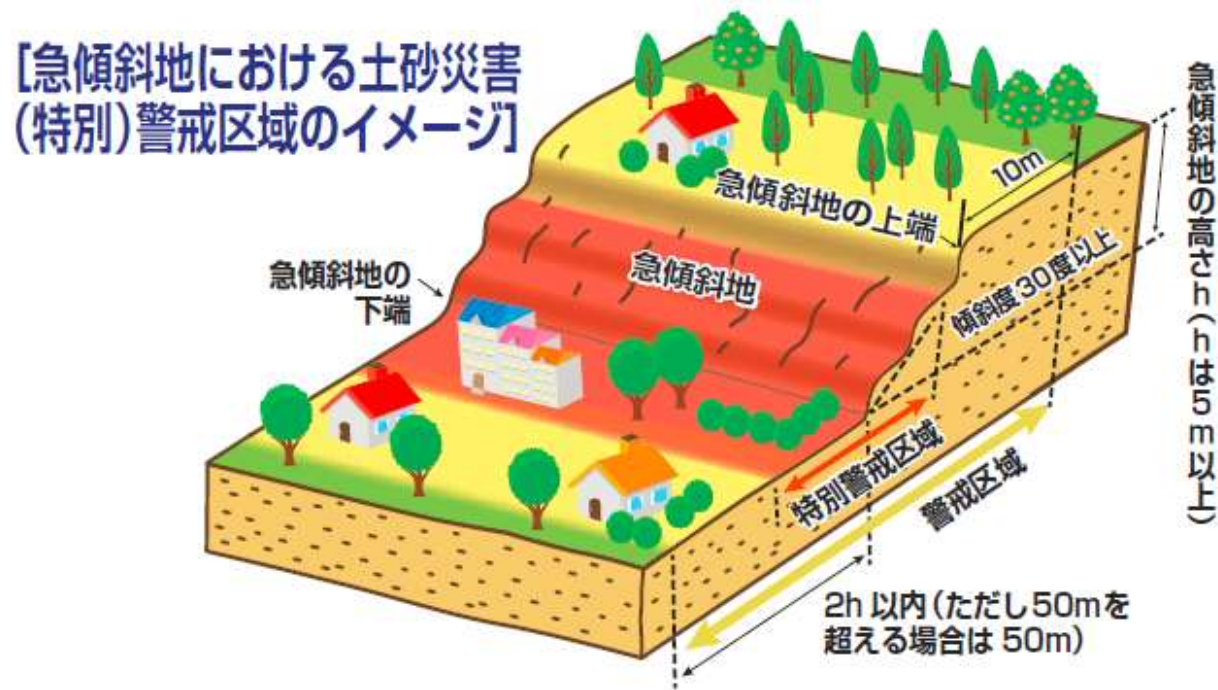
【ポイント】

・土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

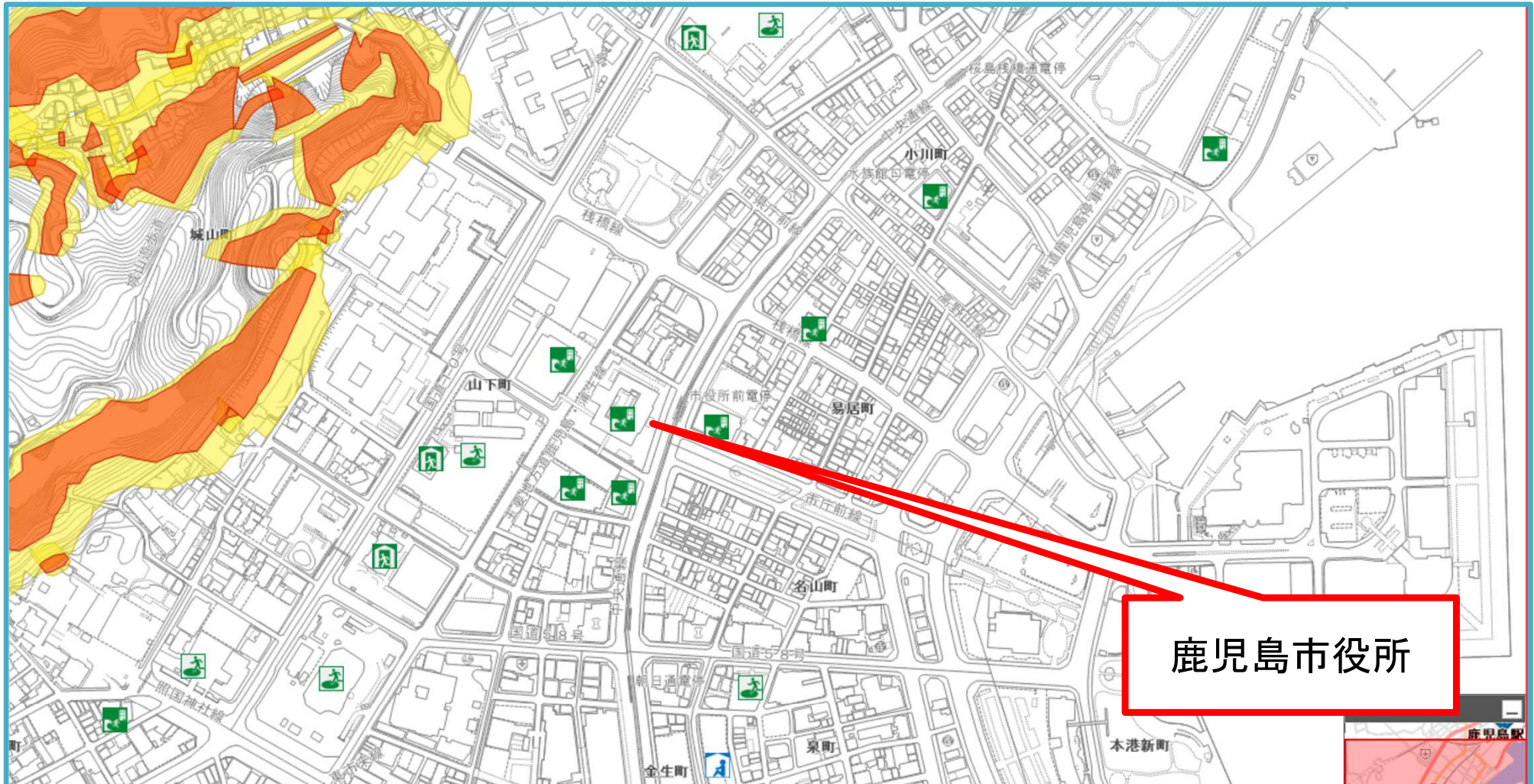
⇒土砂災害のおそれがある区域

・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

⇒イエローゾーンの中でも特に大きな被害が生じるおそれがある区域



土砂災害（特別）警戒区域



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

対象となる避難情報

高齢者等避難(土砂)・避難指示(土砂)・緊急安全確保(土砂)

洪水について

【ポイント】

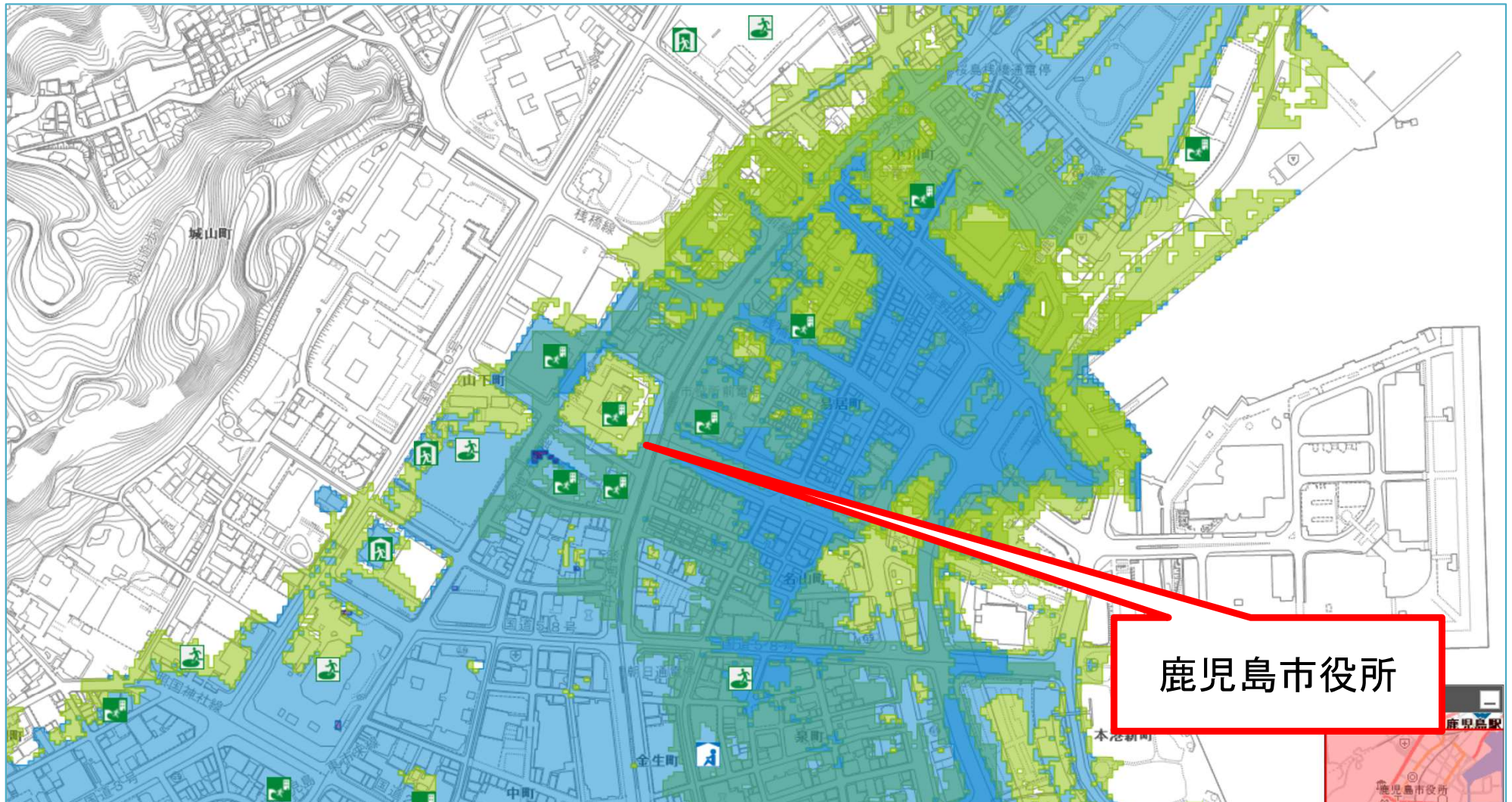
・洪水浸水想定区域

⇒川の水が堤防の高さを超えたり、堤防が壊れて水があふれることにより、建物などが水につかることが想定される区域

洪水浸水想定区域における浸水深の見方



洪水浸水想定区域



洪水浸水想定区域

対象となる避難情報

高齢者等避難(洪水)・避難指示(洪水)・緊急安全確保(洪水)

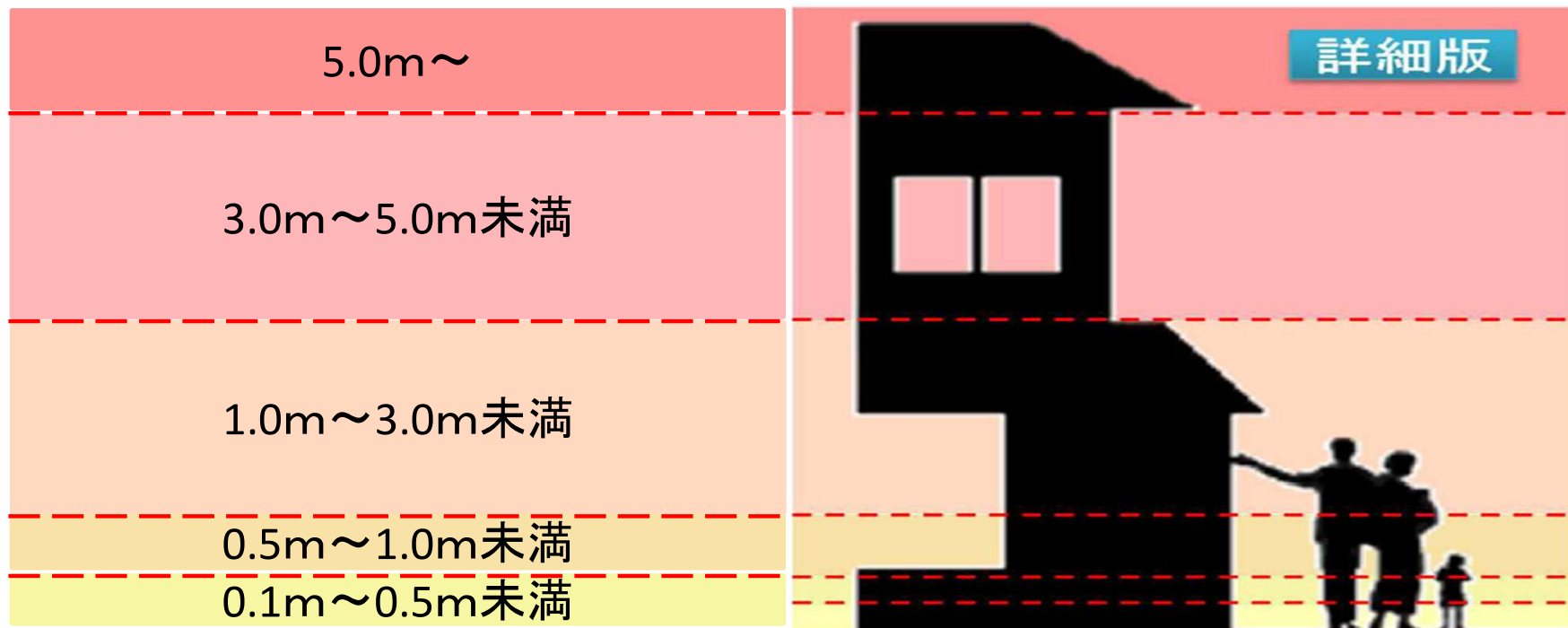
内水氾濫について

【ポイント】

・内水浸水想定区域

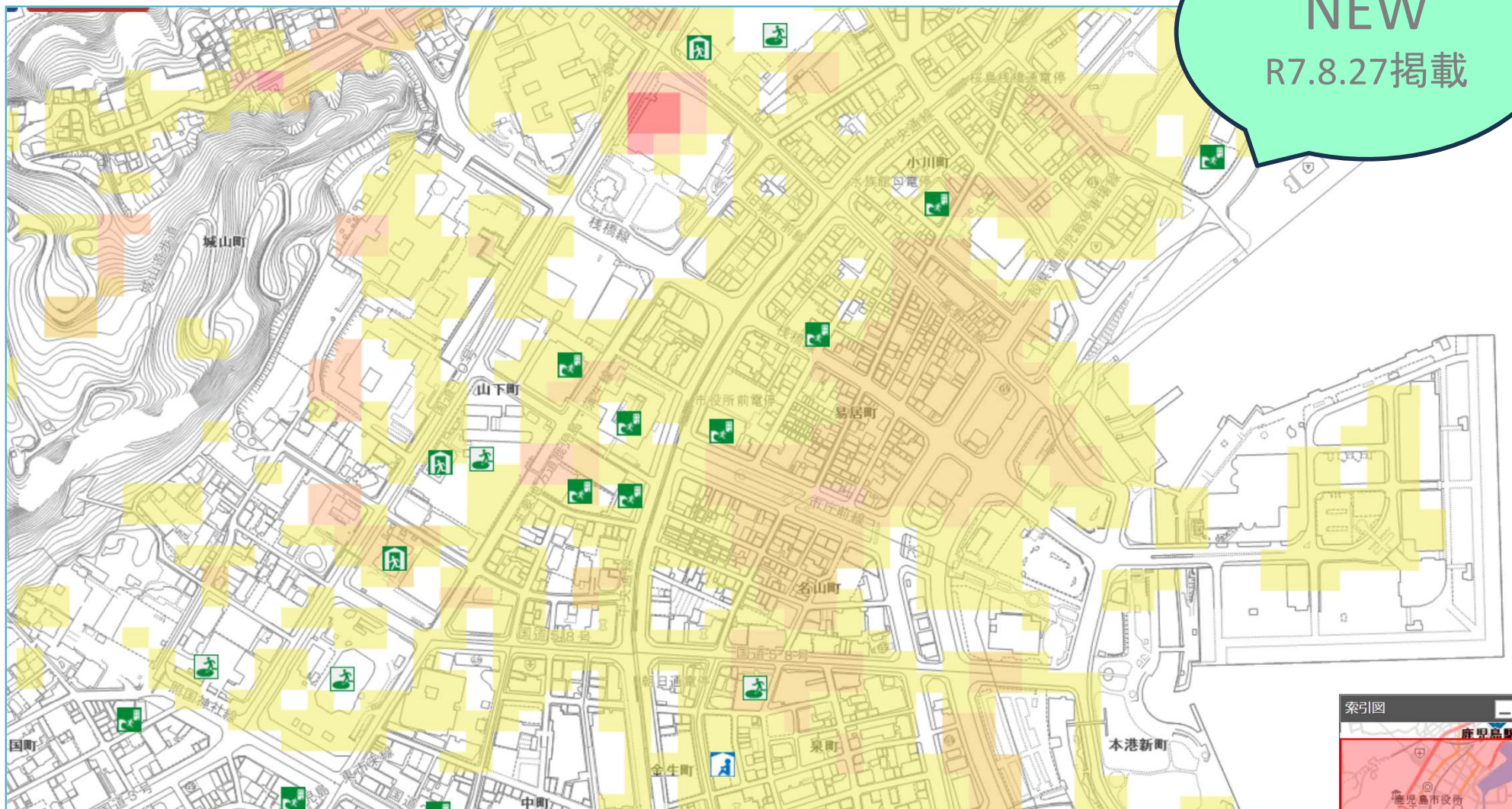
⇒ 想定最大規模降雨により公共下水道の排水施設に雨水を排除できなくなった場合や、公共下水道の排水施設から河川等に雨水を排除できなくなった場合に浸水が想定される区域

内水浸水想定区域における浸水深の見方



雨水出水浸水想定区域

NEW
R7.8.27掲載



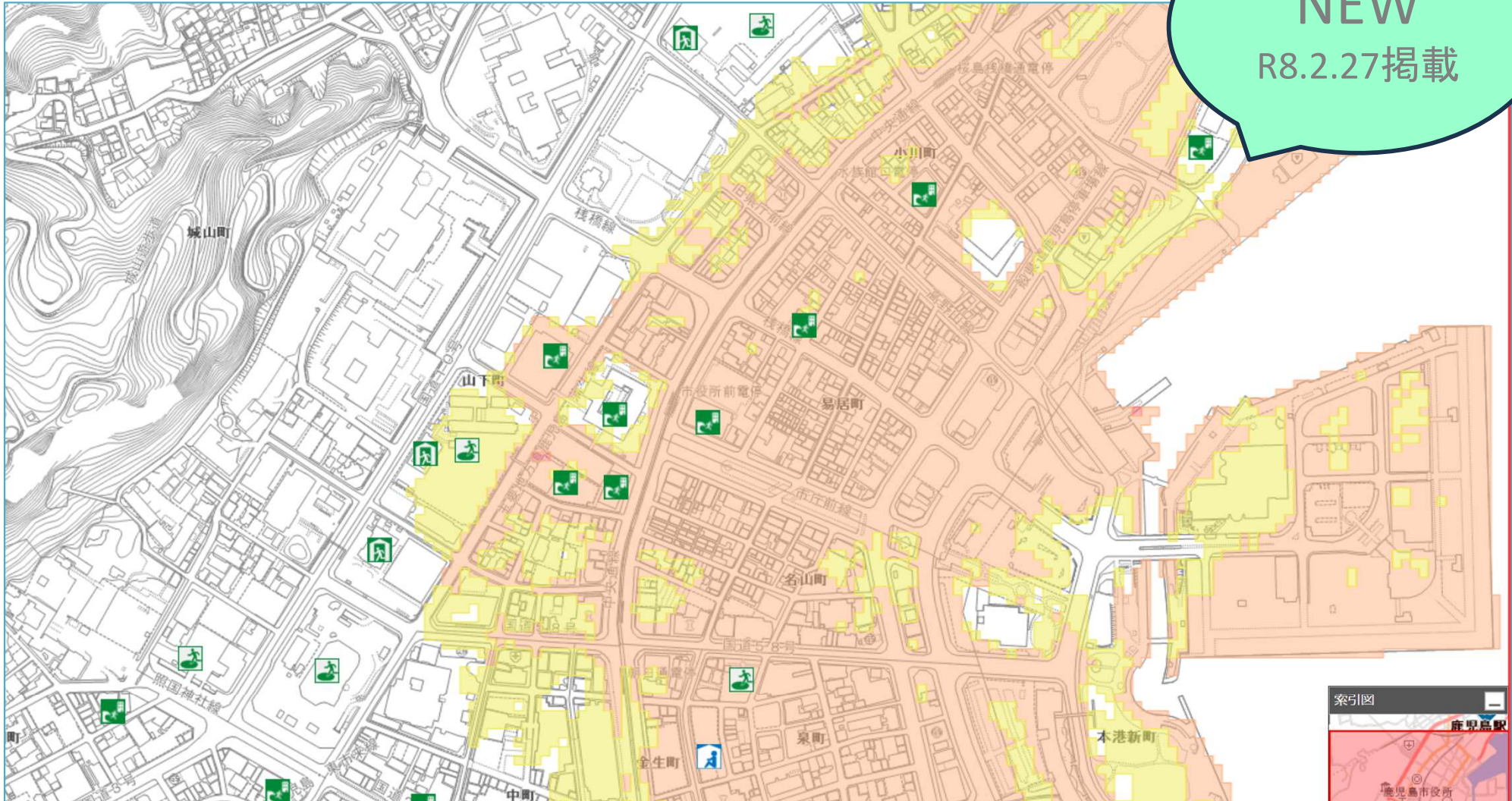
雨水出水浸水想定区域

対象となる避難情報

高齢者等避難(洪水)・避難指示(洪水)・緊急安全確保(洪水)

高潮浸水想定区域

NEW
R8.2.27掲載



高潮浸水想定区域

対象となる避難情報

高齢者等避難(高潮)・避難指示(高潮)・緊急安全確保(高潮)

自宅の場所を確認しよう！

自宅の危険度を確認

(スマホやタブレットなどを使用)

⇒ 「自宅避難」か「自宅外避難」か判断しましょう！



かごしまiマップ(防災マップ)では、市全域の洪水浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域、指定緊急避難場所等の最新の情報を確認できます。



かごしまiマップ

検索

2 災害時にとるべき 避難行動

(3) 防災情報の入手

防災情報などの入手方法を確認しましょう

○主な防災情報の入手方法

テレビ・ラジオ



テレビのリモコンの「d」ボタンを押すと「データ放送」の画面になり、気象情報をはじめ河川の水位などいろいろな情報を取得できます。

鹿児島市ホームページ



避難指示等や避難所の開設、防災行政無線の放送内容などの緊急情報をお知らせします。



事前登録

鹿児島市LINE公式アカウント



事前に友だち登録したLINEのトーク画面に、避難指示等や避難所の開設などの緊急情報を通知します。



事前登録

安心ネットワーク119



事前登録したメールアドレスに、災害情報や避難指示等、避難所の開設などをメールで配信します。



○防災行政無線の放送内容を確認できます

防災行政無線自動電話案内サービス



災害発生時などに防災行政無線で放送した内容を電話で確認することができます。

(通話料は利用者負担)

◇専用ダイヤル 099-222-7222

事前登録

防災行政無線FAX配信サービス

災害発生時などに防災行政無線で放送した避難情報の内容を、事前に登録されたFAXに配信します。

◇事前登録は、FAXかEメールで「住所、氏名(ふりがな)、電話番号、FAX番号」を危機管理課にお送りください。

◇FAX :099-226-0748

Eメール:kikikanri@city.kagoshima.lg.jp



防災情報などの入手方法を確認しましょう

○災害時に便利なアプリとWEBサイト

アプリ

避難所混雑状況情報提供システム
VACAN(バカン)

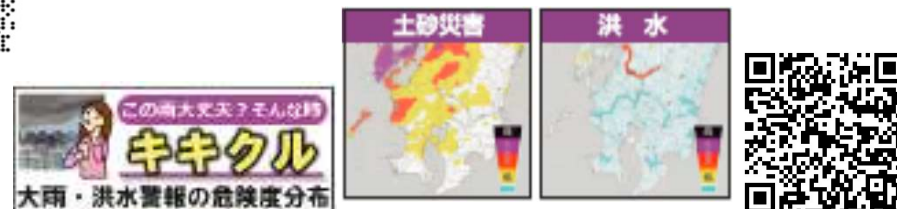
各避難所の開設状況や混雑状況を、スマートフォンやパソコンから確認でき、混雑状況も随時確認できます。



WEB

気象庁ホームページ キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布)

「キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布)」で5段階で色分けされた災害の危険度を確認できます。



アプリ

災害時情報提供アプリ「Safety tips」

外国人旅行者向け災害時情報提供アプリですが、在住者にも役立ちます。日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報等をプッシュ型で通知するほか、周囲の状況に照らした避難行動を示した対応フローチャートや周りの人から情報を取るためのコミュニケーションカード、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を提供しています。

アプリ

民間事業者等による防災情報通知サービス

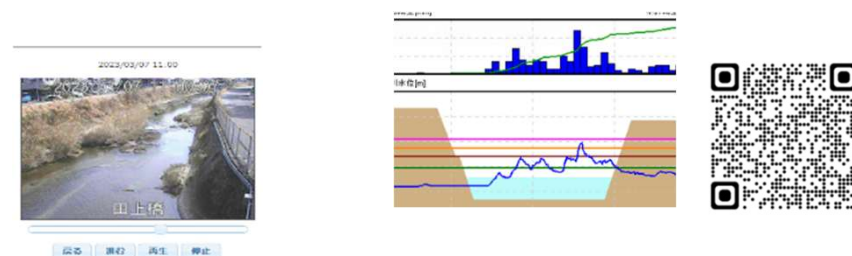
登録した地域に発表された気象情報等をプッシュ通知するサービスを活用し、いざという時の避難の判断等に生かしてください。

- ・防災アプリ等のインストール(Yahoo!防災速報 等)
- ・LINEスマート通知設定
- ・Kago Tips

WEB

鹿児島県河川砂防情報システム

県内の雨量データ、河川の水位、土砂災害の危険度情報などを確認できます。



河川カメラ画像

時間雨量・河川水位グラフ

情報取得手段について

「まだ大丈夫」
と思っていないですか？

気象予報士
天達武史

最新の土砂災害・浸水害・洪水の危険度は

危 機 来 る

キキクルでチェック

「キキクル」は大雨・洪水警報の危険度分布の愛称です。
令和3年3月に公募により決定しました。

この雨大丈夫？そんな時は
気象庁ホームページで確認

検索

優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください。
また、それ以外の場所では、マナーモードに切替え、通話をご遠慮願います。
気象庁 東京都港区虎ノ門 3-6-9 代表電話：03-6758-3900

紫で
避難！

気象庁

情報取得手段について

QRコードを読み取り



または

「キキクル」で検索



キキクルってなに？

雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示

自分がいる場所の災害の危険度を地図上で確認できます。

雨による災害の危険度が10分ごとに更新されます



土砂災害・浸水害・洪水害の3種類



土砂キキクル

浸水キキクル

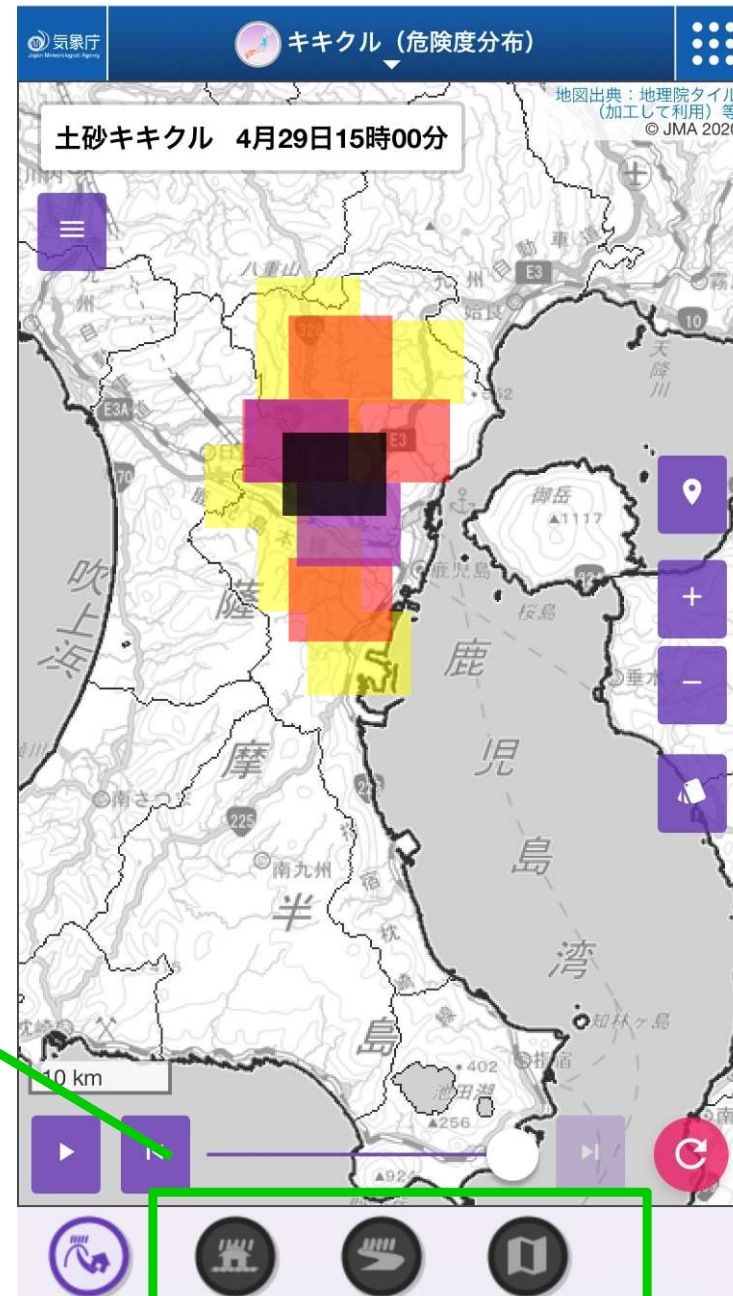
洪水キキクル

危険度を5段階に色分けして表示



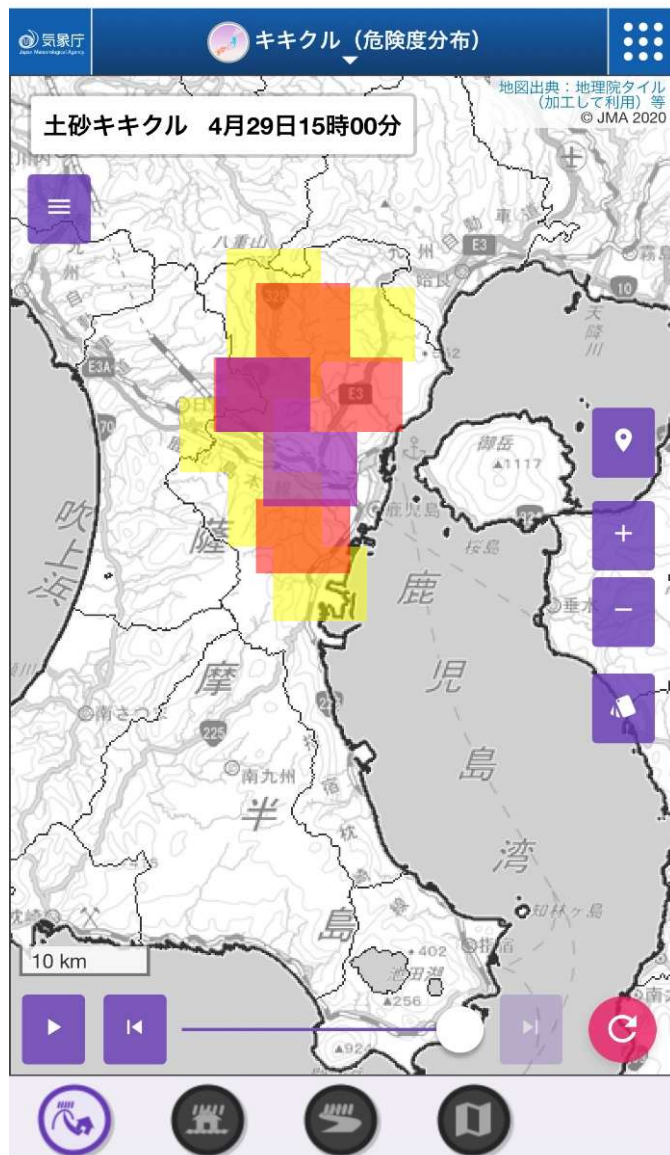
※洪水キキクルの「今後の情報等に留意」は水色表示となっています。

例：土砂キキクル



土砂・浸水・洪水を切り替え

情報取得手段について



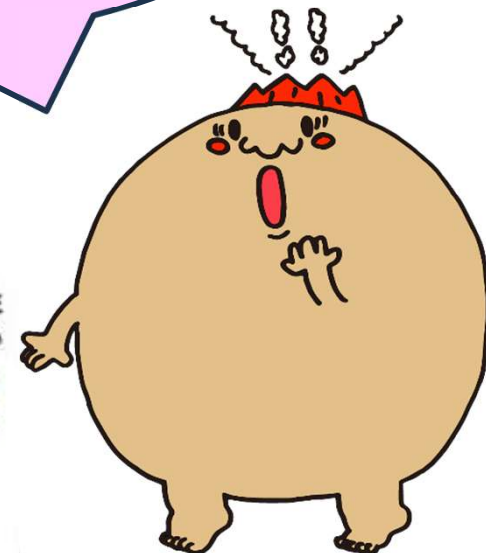
ウチは土砂災害警戒区域で、
危険度が**赤**になったよ！

家には車いすのおじいちゃん
もいるし早めに避難しなきゃ！

危険度を5段階に色分けして表示



※洪水キクルの「今後の情報等に留意」は水色表示となっています。



情報取得手段について

欲しい市役所の情報を
あなたのそばに
届けます

鹿児島市



LINE公式アカウント



情報取得手段について

QRコードを読み取り



または

LINEアプリを開く
ホーム→検索をタップし
「鹿児島市」で検索



情報取得手段について

QRコードを読み取れない場合



情報取得手段について

⑤第450号(平成16年11月号)

～新・鹿児島市誕生～
合併で新たなスタート

2004年11月号

⑥第609号(平成30年2月号)

かごしま
市民のひろば
2月号
2018年2月号
第609号

1月13日 大河ドラマ館オープン
～拝見はここが洛陽から～

⑦第636号(令和2年5月号)

かごしま
市民のひろば
5月号
2020年5月号
第636号

⑧第679号(令和5年12月号)

かごしま
市民のひろば
12月号
2023年12月号
第679号

あつたといくとく
マグマシティ
鹿児島市

鹿児島市
友だち 115,656

欲しい市政情報をあなたのそばに届けます
基本情報を見る >

追加

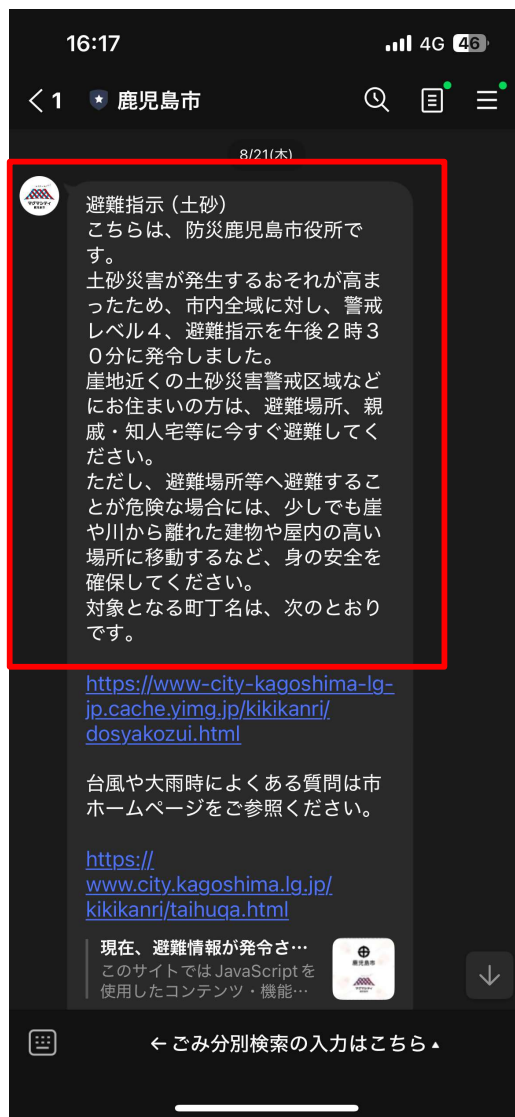
トーク

投稿

トーク

情報取得手段について

避難指示(土砂)が発令された場合

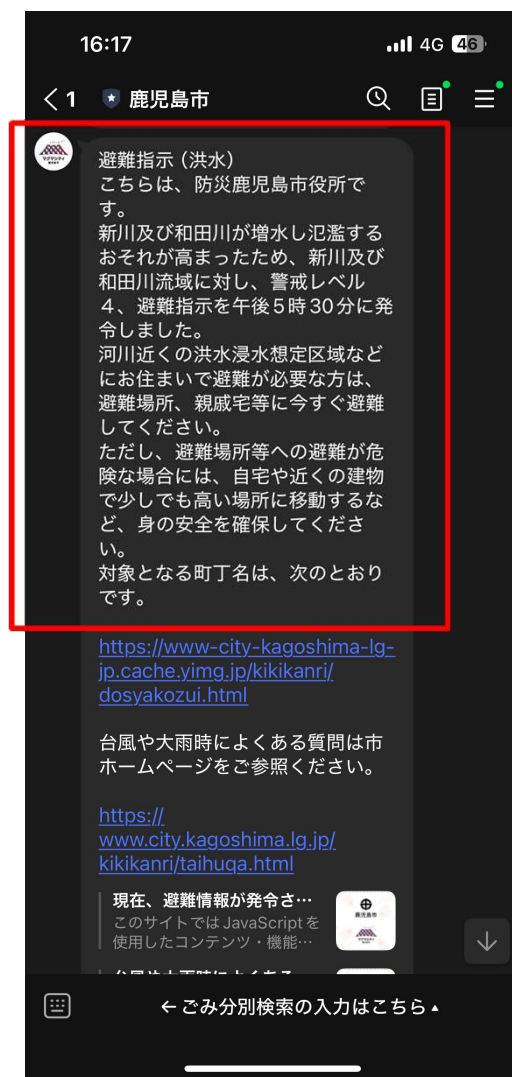




避難指示(土砂)
こちらは、防災鹿児島市役所です。
土砂災害が発生するおそれが高まったため、市内全域に対し、警戒レベル4、避難指示を午後2時30分に発令しました。
崖地近くの土砂災害警戒区域などにお住まいの方は、避難場所、親戚・知人宅等に今すぐ避難してください。
ただし、避難場所等へ避難することが危険な場合には、少しでも崖や川から離れた建物や屋内の高い場所に移動するなど、身の安全を確保してください。
対象となる町丁名は、次のとおりです。

情報取得手段について

避難指示(洪水)が発令された場合



避難指示(洪水)

こちらは、防災鹿児島市役所です。

新川及び和田川が増水し氾濫するおそれが高まったため、新川及び和田川流域に対し、警戒レベル4、避難指示を午後5時30分に発令しました。

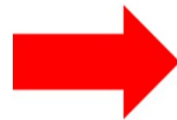
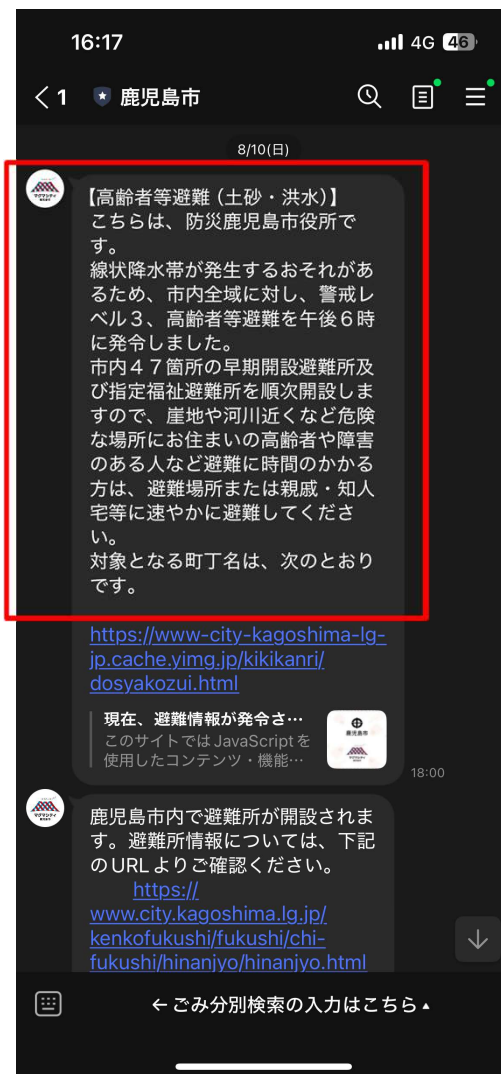
河川近くの洪水浸水想定区域などにお住まいで避難が必要な方は、避難場所、親戚宅等に今すぐ避難してください。

ただし、避難場所等への避難が危険な場合には、自宅や近くの建物で少しでも高い場所に移動するなど、身の安全を確保してください。

対象となる町丁名は、次のとおりです。

情報取得手段について

高齢者等避難(土砂・洪水)が発令された場合



【高齢者等避難(土砂・洪水)】
こちらは、防災鹿児島市役所です。
線状降水帯が発生するおそれがあるため、市内全域に対し、警戒レベル3、高齢者等避難を午後6時に発令しました。
市内47箇所の早期開設避難所及び指定福祉避難所を順次開設しますので、崖地や河川近くなど危険な場所にお住まいの高齢者や障害のある人など避難に時間のかかる方は、避難場所または親戚・知人宅等に速やかに避難してください。
対象となる町丁名は、次のとおりです。

2 災害時にとるべき 避難行動

(4)ご家庭等での災害への備え

“もしも”に備える「家庭での備蓄」

能登半島地震では、道路寸断による物資輸送(食糧や生活用品)の遅れやライフラインの寸断(トイレや洗濯等の生活用水の不足)が発生しており、備蓄の重要性が高まっています。

備蓄品(お家に備えておくもの)

- ☐飲料水(1人1日3リットル)
- ☐食糧
- ☐卓上カセットコンロ(ガスボンベ)
- ☐簡易トイレ
- ☐生活用品(ティッシュやポリタンクなど)



飲料水や食糧などは、最低でも3日分、できれば1週間分の備蓄が望ましいです。

非常持出品(避難の際に持ち出すもの)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 衣類・タオル | ☐ 常備薬 |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ レインウェア |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 電池・携帯充電器 |
| ☐ 救急用品 | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |

ミルクや離乳食、オムツ、生理用品など、家族構成に合わせた備蓄・非常持出品を準備しましょう。

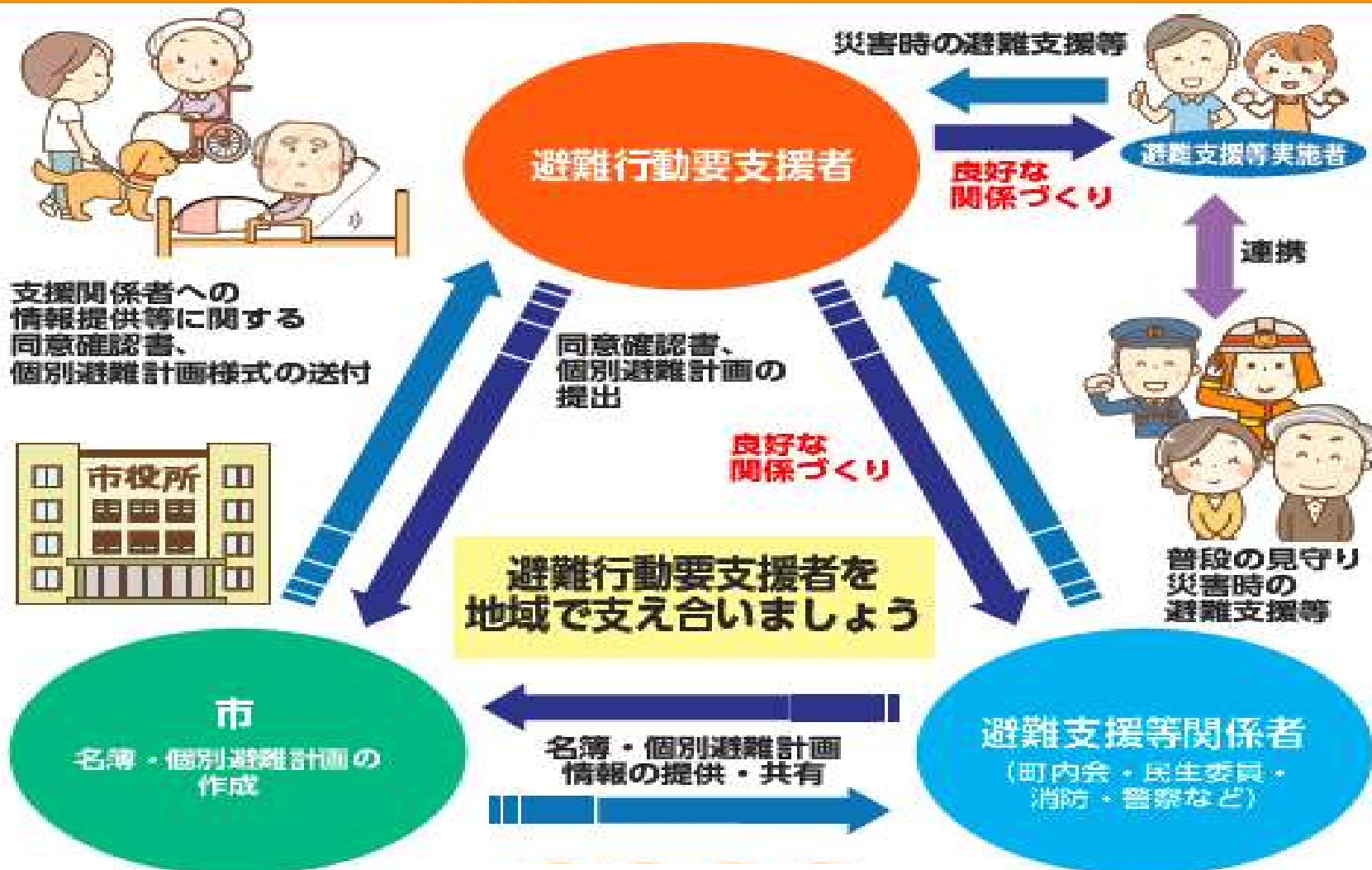
3 令和8年度の取組み

(1) 避難行動要支援者制度

避難行動要支援者避難支援等制度

避難行動要支援者避難支援等制度は、要介護者や重度の障害者など災害時に支援を必要とする人に対して、町内会や民生委員、隣近所の人たちなど地域が連携して支えあう仕組みです。

制度のイメージ図



避難行動要支援者の対象範囲

- ① 要介護3以上の認定を受けている者
- ② 身体障害者手帳1級・2級を所持する者
(心臓・じん臓機能障害のみの者を除く)
- ③ 療育手帳A1・A2を所持する者
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者
- ⑤ 市の障害福祉サービスを受けている難病患者等
- ⑥ 前各号以外の者で、市長が避難支援等の必要を認めたもの

※原則として居宅生活者が対象

※①～⑤以外の方で、自分で安全な場所に避難できる方は対象とはなりません

※市で把握することができる①～⑤の事由については名簿に記載されます

避難行動要支援者の特徴

- ① 災害の危険を察知することが困難である。
- ② 危険が迫っていても助けを求めることが困難である。
- ③ 危険を知らせる情報(避難情報など)を受け取ることが困難である。
- ④ 危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

支援のポイント

●誘導の基本

避難誘導の際は、事前に避難所への安全な複数の避難経路を把握し、避難行動要支援者それぞれの特性を理解した上で支援しましょう。

●寝たきり高齢者の場合

ひとりでの支援が難しい場合は、隣近所や町内会・自主防災組織などで協力し、担架や毛布などを使って避難を手伝いましょう。



●目の不自由な人の場合

●誘導する人のひじの少し上をつかんでももらいます。その際、誘導する人は、白杖の邪魔にならないように気をつけましょう。

●階段などの段差がある場合は、階段の直前でいったん止まり、段差があることと、上りか下りかを伝えます。誘導する人が一段先を歩くようにし、上りきったり、下りきったりしたときも、そのことを伝えましょう。

●危険な場所がある場合は、その状況を具体的に伝え、一番安全な方法で誘導しましょう。



◆個別避難計画について

・避難行動要支援者名簿に記載された要支援者それぞれの状況に応じて、避難支援者や予定避難場所、避難誘導時の留意事項などを記載した計画

・避難行動要支援者数	12,275人
名簿提供に同意	4,244人
<u>個別避難計画作成済</u>	<u>3,059人</u>

令和8年度は、8月頃、市が対象者へ名簿提供の同意確認の書類などの郵送を予定しています。

調査結果を年度末に送付予定です。

※ 皆さまのご協力を宜しくお願いします

ポイント

名簿と個別避難計画などの情報は、本人の同意を得て、町内会や民生委員、消防、警察などの『避難支援等関係者』へ情報が提供され、平常時の見守り活動や、個別避難計画の作成支援などに役立てられます。なお、災害時は、同意の有無に関わらず提供され、安否確認などに活用されることになります。

〇〇町内会 避難行動要支援者名簿情報 兼 個別避難計画情報【取扱い注意】

- この名簿には、災害時の避難行動要支援者として、平常時からの情報提供に同意された方が掲載されています。大切な個人情報ですので、コピーや目的外の利用は禁止します。
- 災害が起こりそうな時や実際に災害が起こった時に、誰と・どこに・どのように避難するかなどの情報を平常時から避難支援等関係者と共有することで発災時の円滑かつ迅速な避難支援等の実施に結びつくため、以下の通り情報提供させていただきます。

令和〇年〇月〇日発行

No.1	カゴシマ タロウ 鹿児島 太郎 S50.5.5生	住所	吉野町1234		性別	男	血液型	A	Tel(自宅)	099-000-0000		(FAX)	099-123-4567		Tel(携帯)	090-1111-2222		同意の有無		
		住居の種類	一戸建て(2階建て)			世帯状況	ひとり暮らし		自宅周辺で心配される災害			土砂災害			町内会名	吉野中央		○		
		支援を必要とする事由	要介護3以上																	自由記入欄
		避難時に配慮すること	耳が聞こえない・聞こえにくい																	
		避難支援等実施者	①	(氏名) 鹿児島 一郎			(続柄)	長男		(住所)	鹿児島市山下町9番9号					(Tel)	080-7777-6666			
			②	(氏名) 防災 良子			(続柄)	長女		(住所)	鹿児島市吉野町3256-3					(Tel)	090-0000-4444			
		避難場所	〇〇公民館					避難方法	自宅から移動し10分程度かかる											
		緊急時の連絡先	(氏名) 鹿児島 一郎			(続柄)	長男		(住所)	鹿児島市山下町9番9号					(Tel)	080-7777-6666				
その他	お薬手帳、血圧の薬を持って避難／〇〇病院へ通院中																			
No.2	カゴシマ ハナコ 鹿児島 花子 S55.2.3生	住所	吉野町9999		性別	女	血液型	B	Tel(自宅)	099-000-0000		(FAX)			Tel(携帯)	090-5555-2222		同意の有無		
		住居の種類	集合住宅(居住階3階部分)			世帯状況	高齢者のみ		自宅周辺で心配される災害			土砂災害、洪水等			町内会名	吉野中央		○		
		支援を必要とする事由	身障1.2級																	自由記入欄
		避難時に配慮すること	杖・歩行器使用／言葉や文字の理解が難しい																	
		避難支援等実施者	①	(氏名)			(続柄)			(住所)						(Tel)				
			②	(氏名)			(続柄)			(住所)						(Tel)				
		避難場所	〇〇公民館					避難方法												
		緊急時の連絡先	(氏名) 鹿児島 二郎			(続柄)	長男		(住所)	始良市1234					(Tel)	080-8888-6666				
その他	外出時は見守りが必要																			

いざという時に助け合うことができる地域へ

- 地域で日頃の見守りや訓練を実施
- 災害発生やそのおそれがある場合、名簿や個別避難計画を活用し、避難支援や安否確認を実施



3 令和8年度の取組

(2) 防災ラジオ

中央・谷山・伊敷・吉野地区のみ

◆防災ラジオ

「鹿児島市防災ラジオ」の概要

災害時の避難情報等を自動でお知らせ

鹿児島市防災ラジオは、大雨や地震などの災害の際に、市が発令する避難情報など、フレンズFM（76.2MHz）の電波を利用してお知らせする緊急放送を、自動的に最大音量で受信するラジオです。

（ラジオを聴いていなくても、待機状態にしておくことで緊急放送を自動受信します）



便利機能

- ① 停電時自動点灯
- ② 録音機能付き
- ③ コンパクトサイズ
（縦5.6cm、横20cm、高さ9.8cm）

◆防災ラジオ

対象者・価格

対象となる方	価格	提供数量
市内在住の個人（戸別受信機貸与対象の旧鹿児島市市域在住の方を除く。）	2,000円	105台
事業所等（町内会を含みます。）	12,000円	5台

※申込者多数の場合は、抽選となります。

申込み等

※以前購入した防災ラジオが故障した方も対象です。

申込期間：令和8年5月8日（金）～7月7日（火）

申込方法：申込用紙・本人確認書類

（危機管理課へ持参・郵送、各支所 総務（市民）課へ持参）

発送：令和8年8月下旬～

※ 抽選の場合、避難行動要支援者に該当する方へは、優先的に提供します

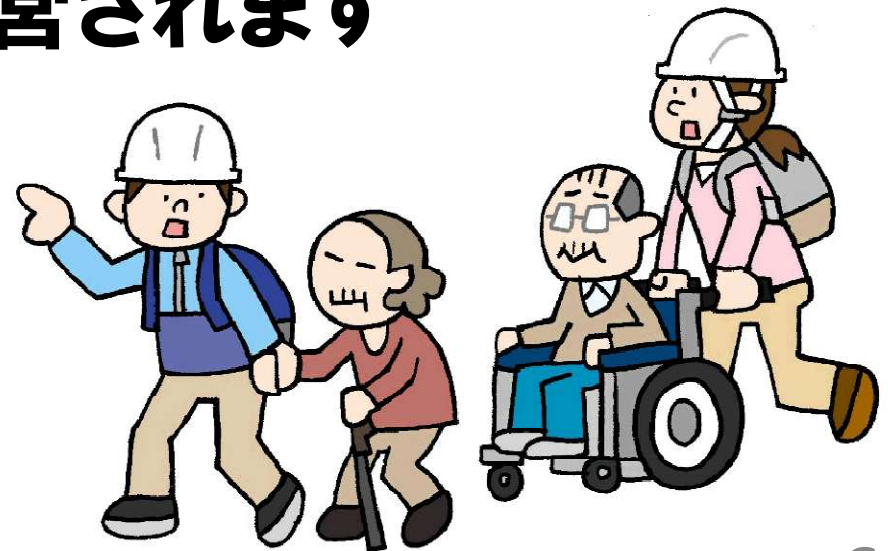
3 令和8年度の取組

(3)自主防災組織

自主防災組織とは

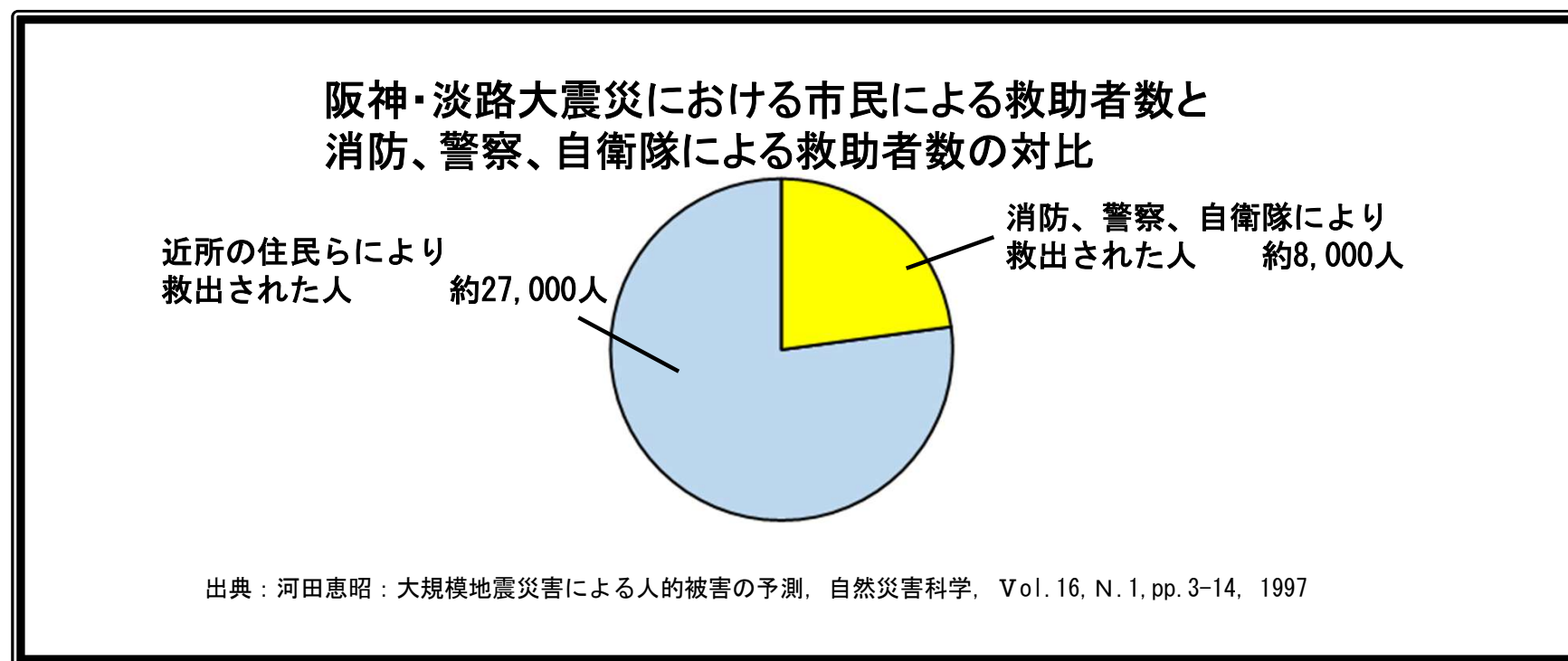
「自分たちの地域は自分たちで守る」
という考え方のもと、地域の防災活動を行う組織

⇒主に町内会や自治会等の規模で、
地域住民により、設置・運営されます



自主防災組織とは

阪神・淡路大震災では救助された方の約80%
は近所の住民らによって救助されました



近隣住民や地域のつながりによる **共助** が
人命救助や被害軽減に大きな役割を担います

自主防災組織とは

例えば…

大雨・台風がやってくる！

⇒(事前に)地域の危険箇所の周知

⇒班長等へ連絡を行い警戒体制の準備

⇒ハザード内にお住まいの方へ注意喚起

⇒安否確認・避難誘導 など

災害時に一番助けになるのは、近くにいる人です！

自主防災組織とは



**発災前～発災後にスムーズに動けるよう
普段から準備しておくことが重要です！**

防災活動の一例

危険個所の防災点検・防災マップの作成



- ➡ 地域が抱える災害等のリスクを共有できる
- ➡ 安否確認訓練等に活用できる
- ➡ 安全に避難するための計画を考える土台になる

防災活動の一例

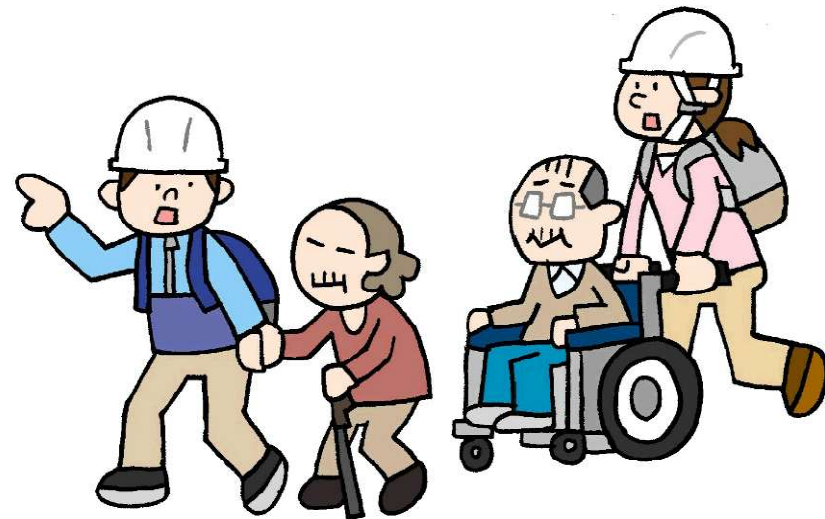
安否確認訓練



- ☞ 災害時に迅速に住民の安否情報を収集できる
- ☞ 取り残しがなくなることで住民が普段から安心して暮らせるようになる
- ☞ 地域のつながりが強くなる

防災活動の一例

避難行動要支援者の支援活動



- ➡ 支援活動を通じて支援側の経験や対応力が高まる
- ➡ 地域みんなで、支援が必要な人を見守り支える仕組みができる

防災活動の一例

炊出し訓練(避難所運営ほか)



大規模発災時は地域で
避難所を運営します

- ➡ 災害時に必要な食料供給の方法を確認できる
- ➡ 住民同士の連携が強まり、災害時の協力体制が整う

事例紹介(避難行動要支援者の支援活動)

中央町自主防災会

安否確認訓練・避難行動要支援者の避難訓練



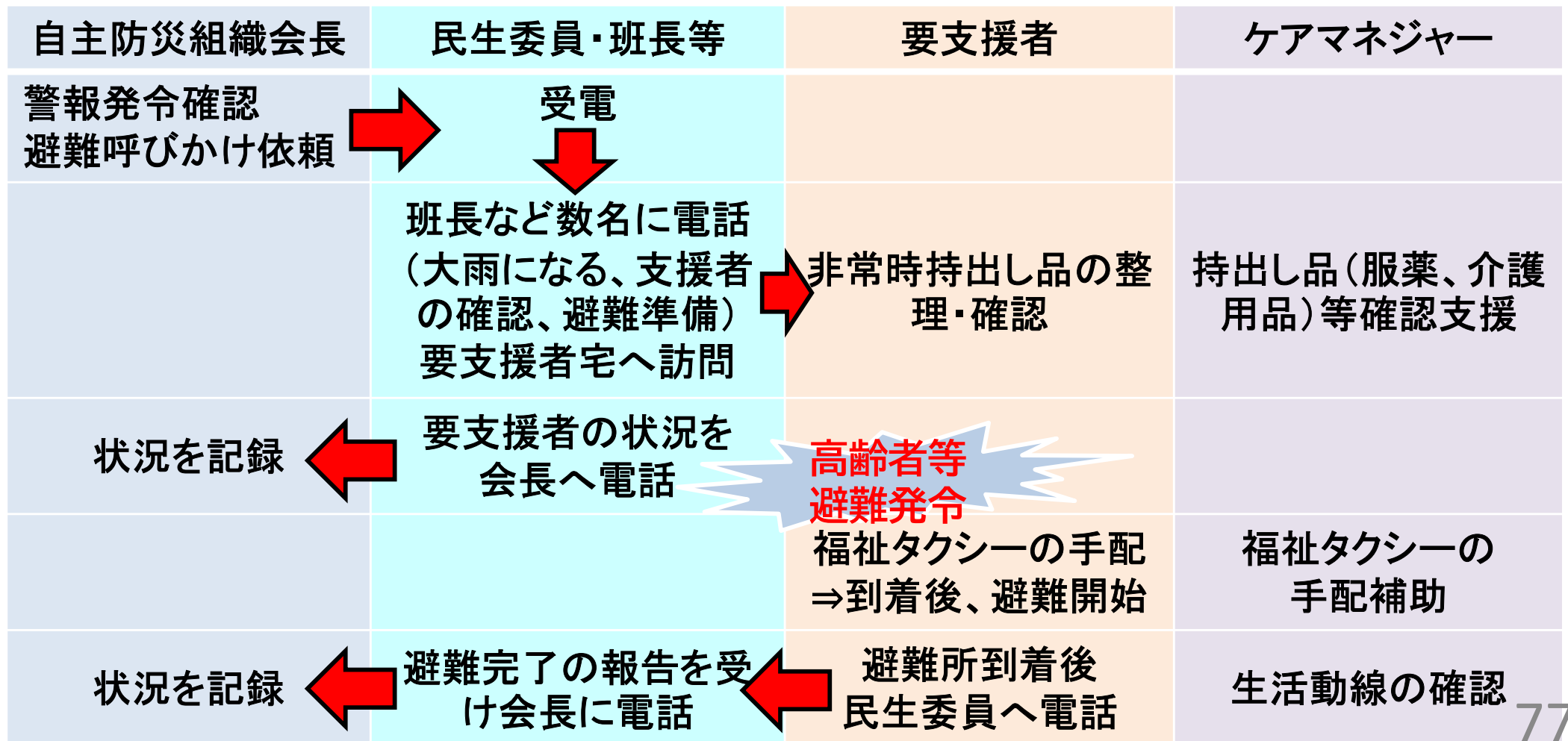
電話連絡及び民生員の訪問による安否確認
状況悪化に伴う避難の呼び掛け
介護タクシーを利用した避難所への移動 など

事例紹介(避難行動要支援者の支援活動)

中央町自主防災会

～概要～

翌日未明に線状降水帯による非常に激しい雨が降ると想定
⇒当地域は、甲突川の浸水想定区域(3m以上)であることから
危険区域内の住民への声掛け+避難誘導



事例紹介(避難行動要支援者の支援活動)

中央町自主防災会

～成果～

- ・警報発令から避難完了までスムーズな情報伝達ができた
- ・住民同士の関係が強まり、地域全体の助け合い意識が高まる
- ・要支援者への理解が深まり、支援者と要支援者の役割分担がはっきりとし、心理的安心にもつながる

一方で...

介護タクシーは事前予約が必須で移動手段の見直しが必要
など課題も見つかった

まずは、
地域の特性に応じた訓練等をできることから始めましょう！

自主防災組織を支援します！

支援 助成制度

活動助成

自主防災組織が防災や減災に係る活動を実施する場合

上限2万円
(年2回)

(令和7年6月～)

申請にあたり、下記5つの訓練のうちいずれかを実施すること。

- ①地域防災マップの作成
- ②危険箇所の防災点検
- ③避難行動要支援者の支援活動
- ④安否確認訓練
- ⑤炊出し訓練

なお、上記に加え、自主防災組織独自の訓練と組み合わせて実施する場合、独自訓練の経費も助成対象になります。

自主防災組織を支援します！

支援 助成制度

自主防災組織が整備する防災資機材や防災活動に係る経費を助成しています。

資機材整備補助	自主防災組織を結成後、はじめて防災資機材を整備する場合（1回のみ）	上限10万円
	自主防災組織を結成後、上記の補助を受けてから5年以上経過している組織が防災資機材を整備する場合（1回のみ）	上限7万円

◆資機材整備補助金の対象となる資機材の一例



自主防災組織を支援します！

支援 地域防災推進指導員による結成や活動支援

自主防災組織の活動内容や防災資機材、支援制度等を紹介するリーフレットを作成しました。



01 地域防災マップの作成

地域の災害リスクを把握し、避難経路や避難場所を明示した防災マップを作成します。

【作成の流れ】

事前準備

- ・地域の地図を印刷
- ・避難経路の確認
- ・地域の防災に必要な情報を収集 など

実施当日

- ・持ち寄った情報を意見交換し必要な情報を整理
- ・地図上に書き込む
- ・書き込んだものをコピーし地域で共有
- ・マップに盛り込む情報の一例
- ・避難場所の施設
- ・危険な物や場所
- ・避難経路
- ・声掛けが必要な方の情報 など



ワンポイントアドバイス

色分けや写真を用いて視覚的に分かりやすく！

準備するモノ

- ☐ 地域周辺の地図
- ☐ カメラ（写真）
- ☐ 筆記用具
- ☐ 色付き付せん
- ☐ カラーラベルシール（ドットシール） など

●地図は「かこしま」マップを活用すると便利です！



かこしまマップ | 検索

02 危険個所の防災点検

地域内の危険個所を点検し、改善策を講じます。

【作成の流れ】

事前準備

- ・点検箇所の選定
- ・チェックリストの作成 など

実施当日

- ・グループごとに現場確認を実施
- ・記録をとる
- ・必要に応じて清掃、草刈り等の措置
- ・点検結果を共有し対応策を検討する
- ・点検箇所の一例
- ・急傾斜地（崖地）、堤防、ブロック塀等の状況
- ・倒壊する可能性がある建物や看板の状況
- ・防火、防災資機材 など



ワンポイントアドバイス
夏場は熱中症対策を忘れずに！

準備するモノ

- ☐ ヘルメット
- ☐ ヘッドライト
- ☐ 筆記用具
- ☐ 軍手
- ☐ 記録用紙
- ☐ カメラ など

●点検する場所の特性に合わせたモノを準備しましょう。

03 避難行動要支援者の支援活動

高齢者や障害者などの配慮が必要な方を支援するための訓練を行います。

【訓練の流れ】（例：避難訓練の場合）

事前準備

- ・災害、要支援者の状況等の想定
- ・シナリオの作成
- ・役割分担 など

訓練当日

- ・シナリオに沿って進行
- ・情報伝達
- ・避難誘導
- ・訓練後、反省点等を共有しフィードバック など

注意要点

- ・必要とされる支援や配慮について事前に確認
- ・想定される災害に応じた計画立案
- ・個人情報を取り扱う際は十分注意



ワンポイントアドバイス

地域と要支援者の良い関係性を築きましょう！

準備するモノ（例：避難訓練の場合）

- ☐ 防災マップ
- ☐ 避難経路
- ☐ 避難場所
- ☐ トランシーバー、拡声器
- ☐ 担架、リアカ、車いす など

●要支援者の状況は地域によって様々で、必要とされる支援活動は多岐にわたります。想定～計画の立案など、ぜひ危機管理課・地域防災推進指導員までご相談ください。

04 安否確認訓練

災害時に住民の安否を確認するための訓練を行います。

【訓練の流れ】

事前準備

- ・連絡網、安否確認体制の作成
- ・役割分担
- ・シナリオの作成 など

訓練当日

- ・シナリオに沿って進行
- ・情報伝達
- ・訓練後、反省点等を共有しフィードバック など

注意要点

- ・地域住民同士が顔見知りになっておくことが重要



ワンポイントアドバイス

地域で安否確認のルールを共有しましょう！

準備するモノ

- ☐ 防災マップ
- ☐ 防災無線（携帯）
- ☐ 安否確認グッズ（タオル・旗） など
- ☐ トランシーバー、拡声器
- ☐ ヘルメット

●安否確認グッズは、遠くからでも目立つ色やデザインのものを選びましょう。

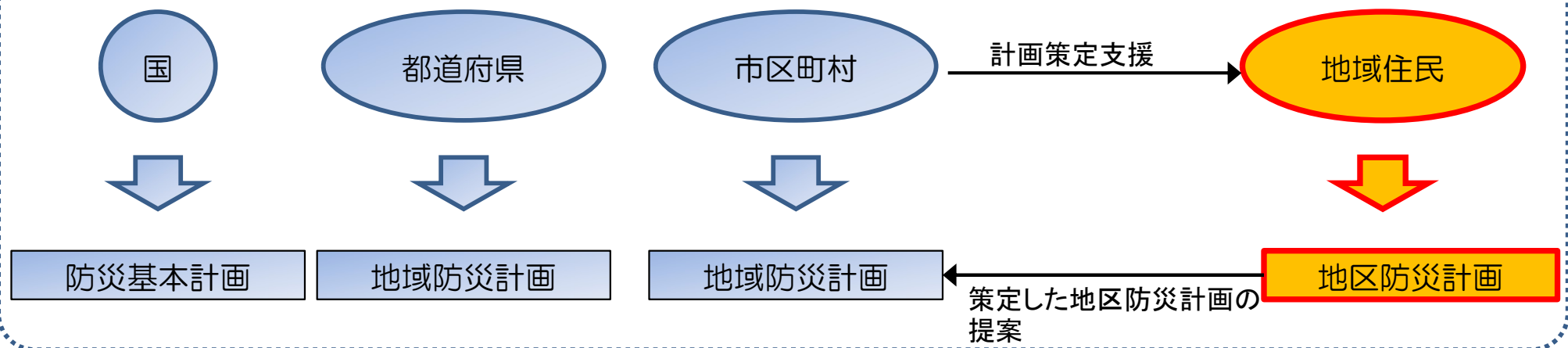
自主防災組織を支援します！

支援 地区防災計画の作成支援

地区防災計画とは

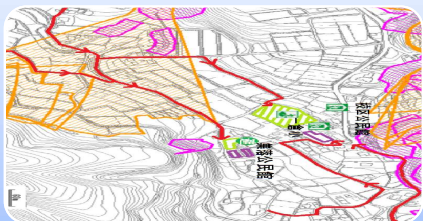
- 地区住民等によって、各地区の特性や想定される災害等に応じて、自発的に行われる防災活動に関する計画
- 東日本大震災において、自助・共助及び公助が連携して、初めて大規模広域災害後の災害対策が上手く機能することが強く認識されたことに伴い、平成25年の災害対策基本法一部改正で「地区防災計画制度」が創設されました。

全体像のイメージ



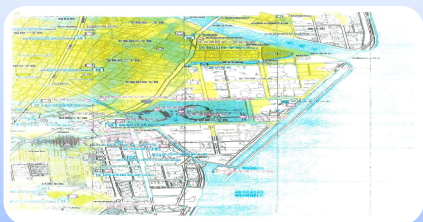
自主防災組織を支援します！

作成事例



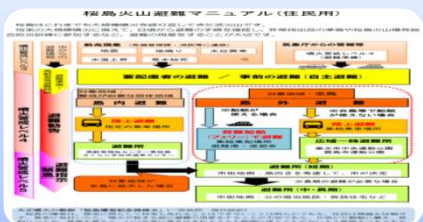
喜入一倉地区

- 策定：平成28年度
- 特徴：中山間地域における限定的な水害及び土砂災害への対策



八幡校区

- 策定：平成29年度
- 特徴：地区内企業との連携、桜島噴火時の大量降灰対策、地震に伴う津波や液状化への対策



桜島(各校区コミュニティごとに策定)

- 策定：平成30年度
- 特徴：コミュニティ協議会と自主防災組織の連携による計画策定、桜島噴火時の避難行動要領

- 日頃から地域で防災について考えるため
- 地域の特性に応じた備えを行うため
- いざというとき、地域で助け合うため



地区防災計画は有効
です！

地区防災計画の作成支援も行っておりますので、ご不明な点が
ありましたら、危機管理課にご相談ください。

自主防災組織に関する相談先

- Q どうすれば組織を結成できるか
- Q どのような活動をすればよいのか
- Q 申請の方法が分からない



地域防災推進指導員が個別に地域を訪問し、自主防災組織の活動支援などを行っていますので、お気軽にご相談ください。

鹿児島市ホームページにも、自主防災組織に関する情報を掲載していますので、ご覧になってください。

鹿児島市 自主防災 共助



★お問い合わせ先★

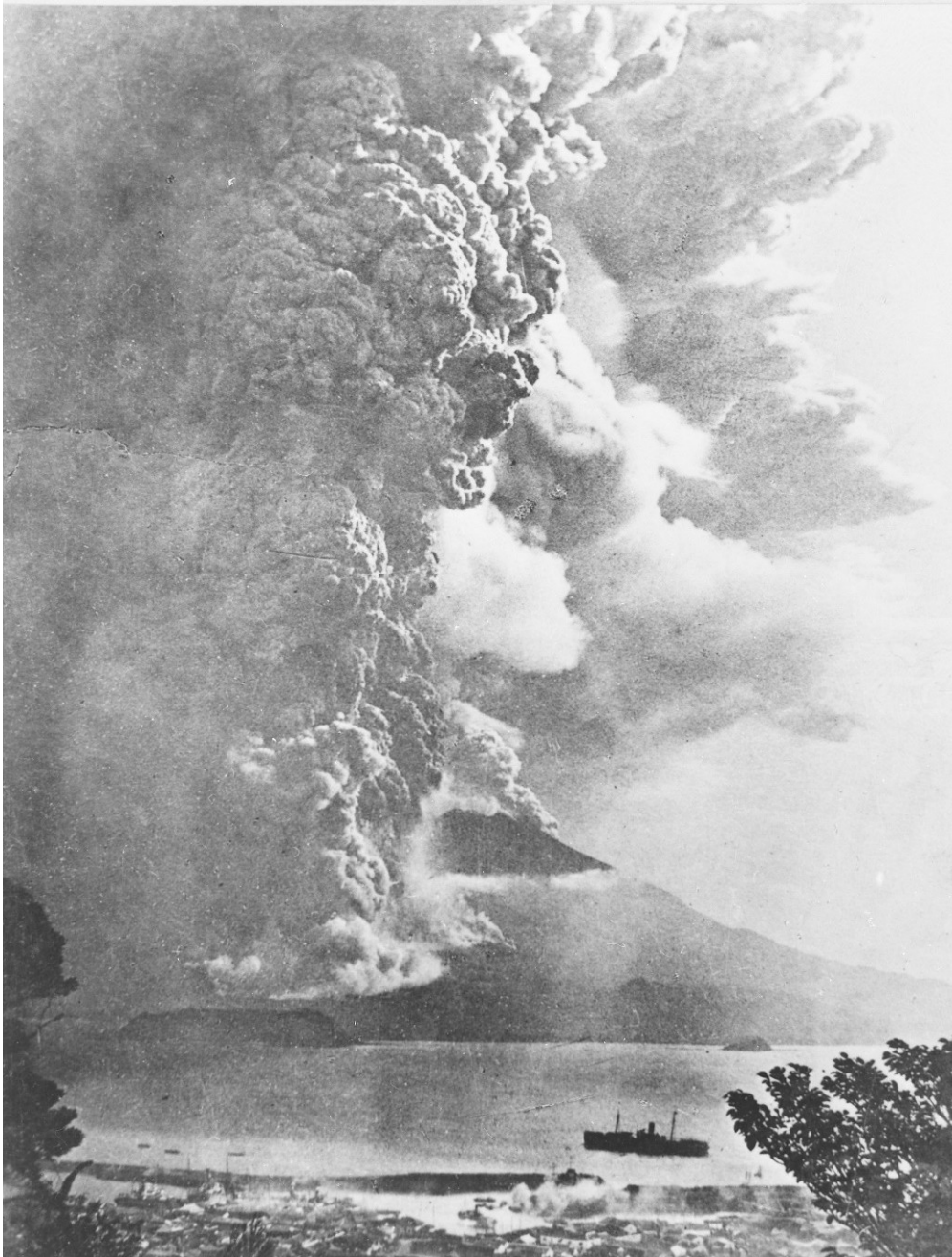
鹿児島市危機管理課

099-216-1513

3 令和8年度の取組

(4)桜島の大規模噴火に備えた
市街地側住民の広域避難

桜島大正噴火



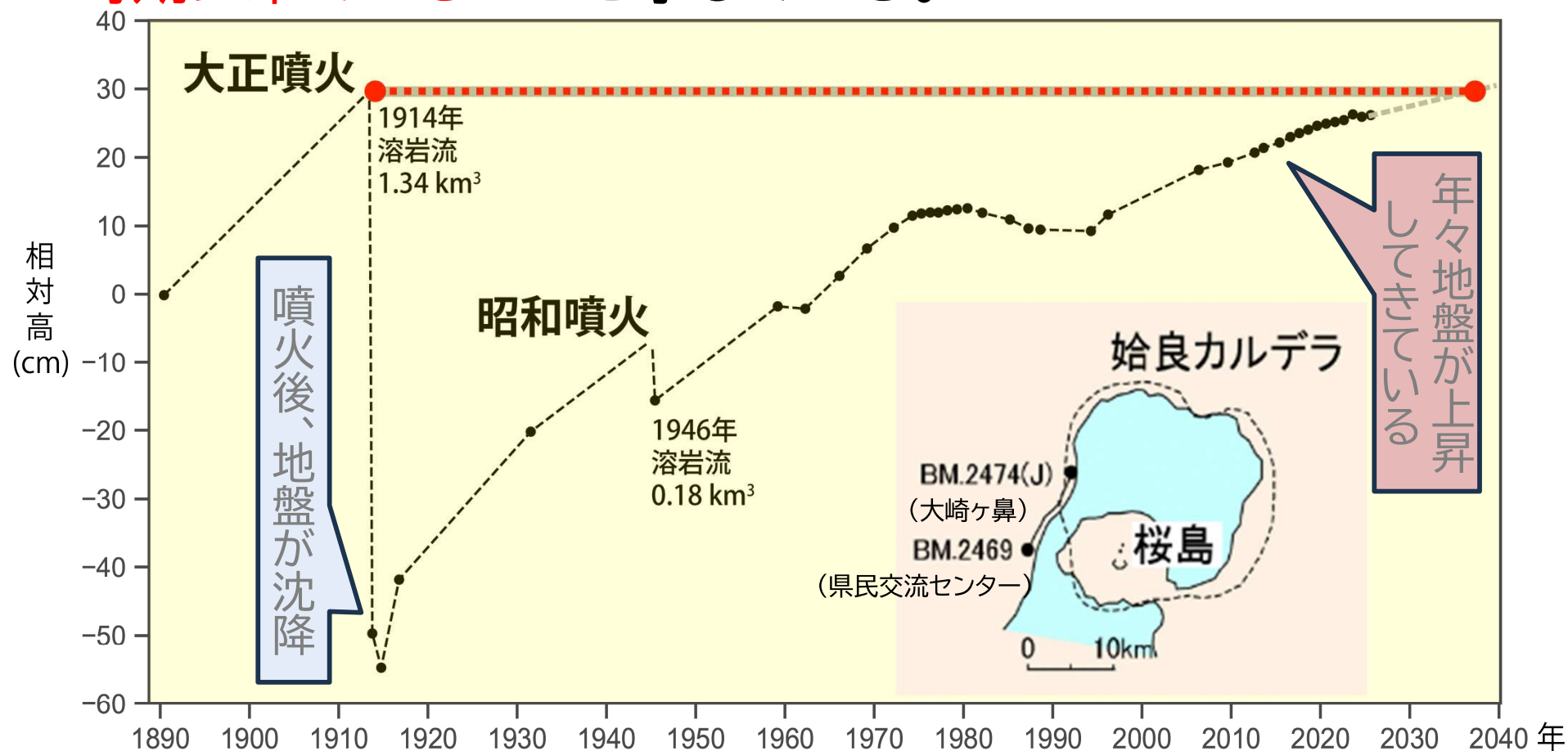
大正3年1月12日に起きた桜島の大正噴火では、**噴煙が約18,000メートル**まで上がり、大量の軽石や火山灰が堆積し土石流や洪水も発生した大隅半島側だけではなく、薩摩半島側の鹿児島市などでも、噴火後に発生した大地震で**多数の死傷者**が出ました。

(死者・行方不明者58名)

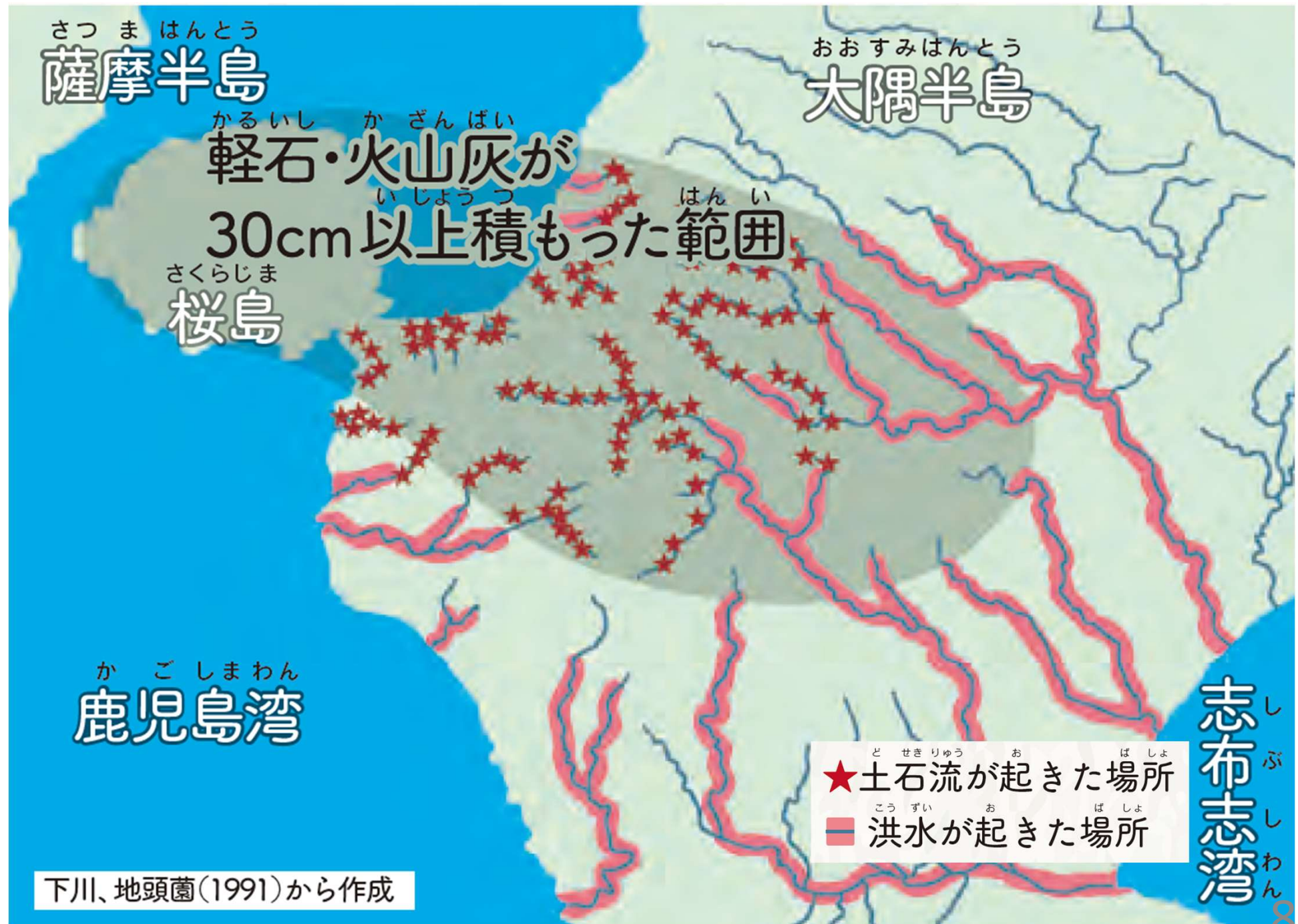
写真提供：鹿児島県立博物館

大正噴火級の大規模噴火への備え

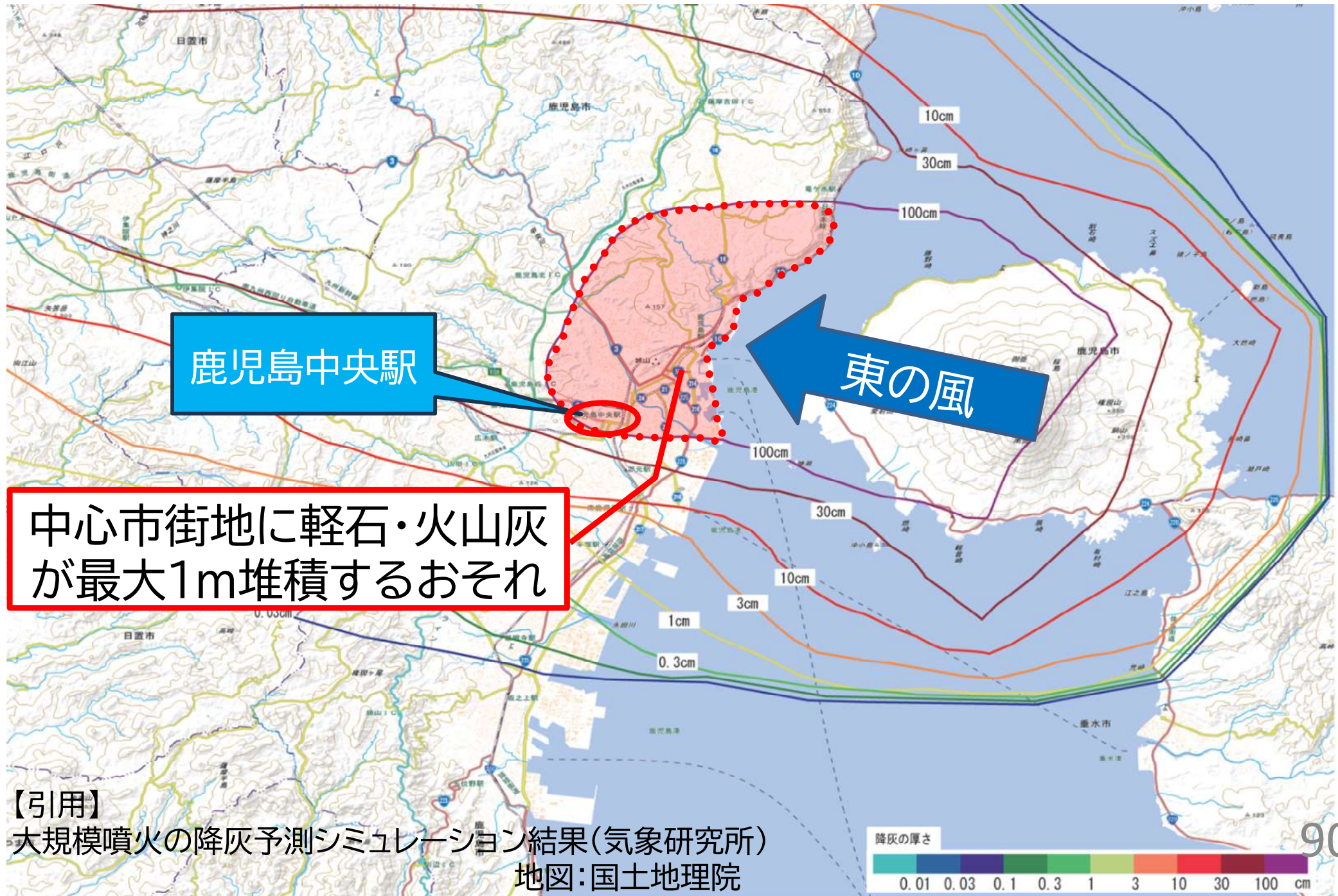
大正噴火から110年以上経過した現在、始良カルデラ下のマグマの蓄積は、**大正噴火が起こる前のレベルまでほぼ戻っていることが推定されており、次なる大規模噴火への備えが必要な時期に来ていることを示している。**



大正噴火による軽石・火山灰の分布



大量軽石火山灰の降下予想範囲 (東風の場合を想定)



市街地側住民の避難計画の必要性

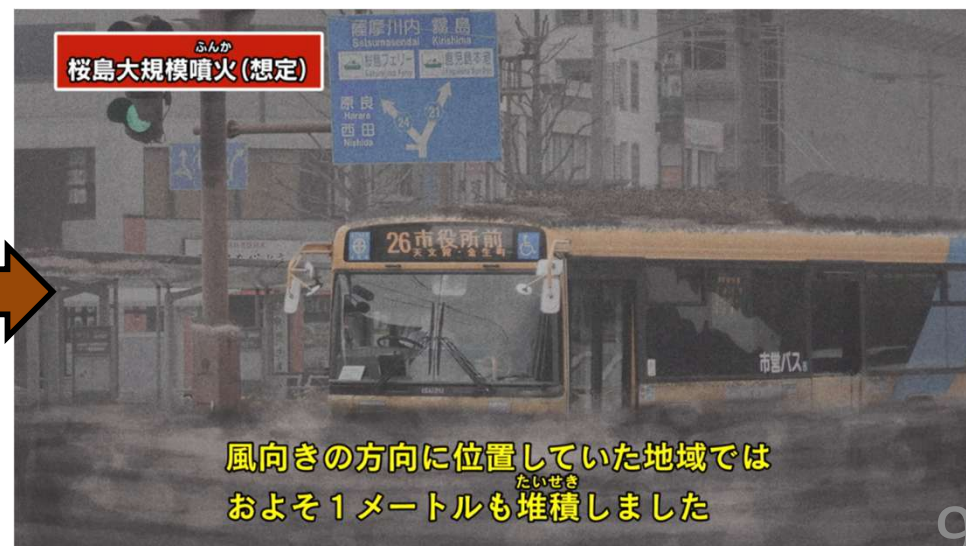
もしいま大正噴火級の大規模噴火が発生したら…

市街地側への風向き(東の風)の場合、
大量の軽石・火山灰や小さな噴石の降下

**生命維持の
危険**

- ・歩行困難・車両通行困難
- ・停電や断水などライフラインの停止

「大量軽石火山灰対応計画」を策定し、
市街地側住民の広域避難について定めています。



風向きの方向に位置していた地域では
およそ1メートルも堆積しました

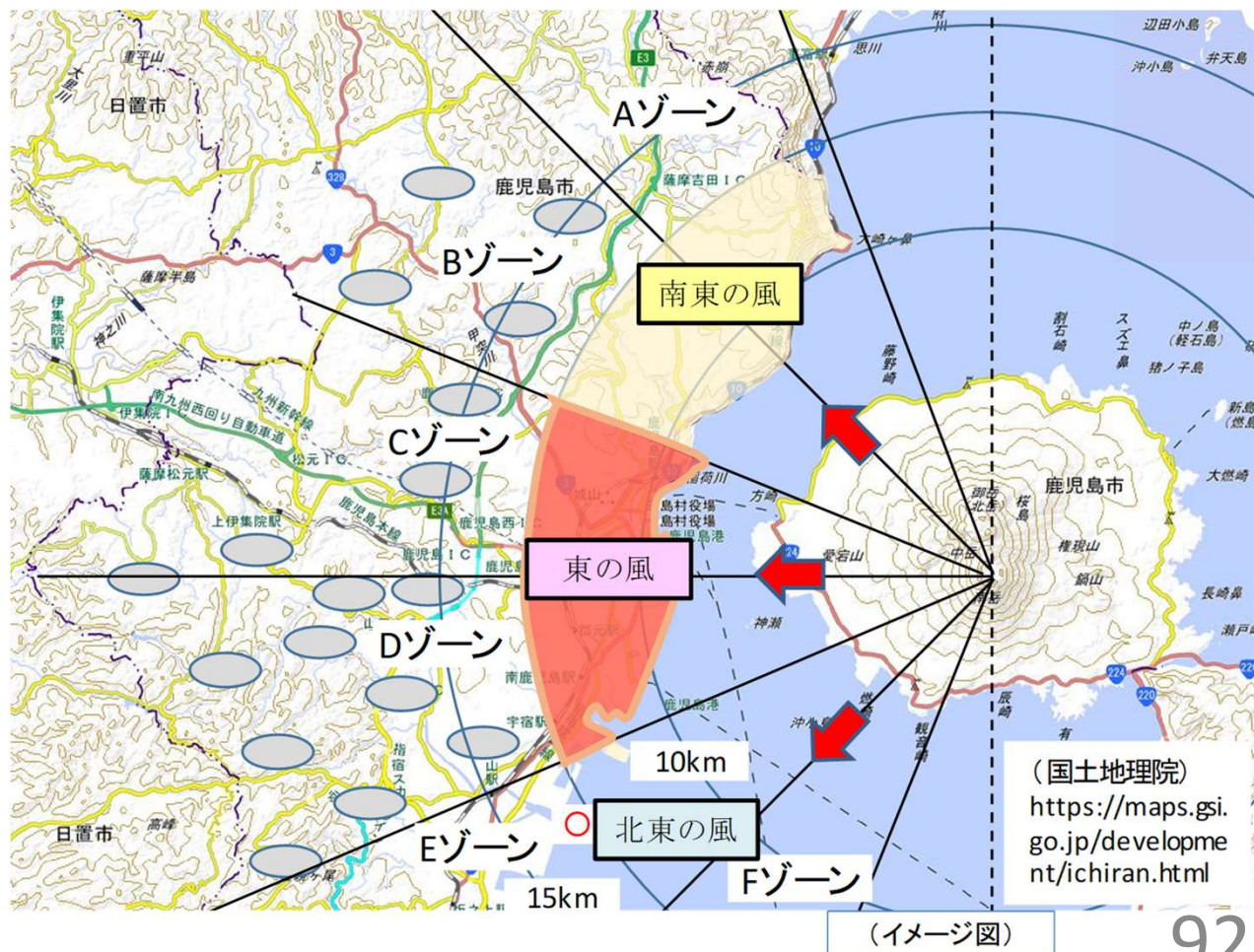
避難対象範囲設定の考え方

鹿児島市に影響のある6方位を北から反時計回りにA～Fゾーンに分割

例) 東の風が吹き、降灰予報による主たる降灰方向が鹿児島市街地方向だった場合はC・Dゾーンが対象となる。

避難ゾーン	主な地域
A	吉野地域(北部)
B	吉野地域(中央)
C	中央地域(中央・上町・城西)
D	中央地域(鴨池)
E	谷山地域
F	喜入地域

※Fゾーンには喜入地域が含まれるが、20km以上離れているため、避難指示の発令対象には含まない。

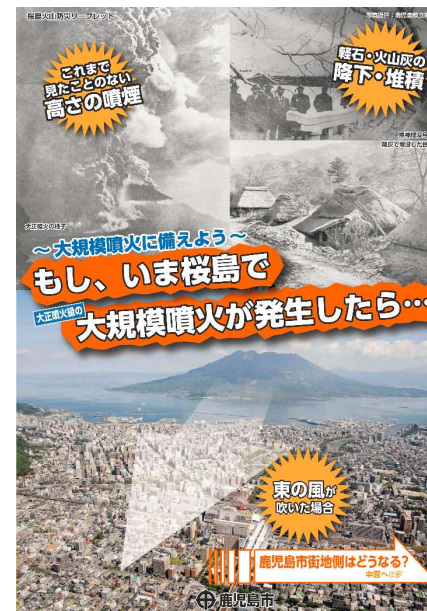


市政出前トーク「桜島大規模噴火に備えよう」

桜島の大規模噴火による災害リスクや市街地側住民の避難対応（広域避難等）について危機管理課職員が講話を行う市政出前トーク「桜島大規模噴火に備えよう」を実施しています。



▲市政出前トーク「桜島大規模噴火に備えよう」



▲桜島火山防災リーフレット



▲桜島火山防災意識啓発映像の放映

出前トーク 申込先

鹿児島市 市民協働課

〒892-8677

鹿児島市山下町11番1号(東別館2階)

TEL:099-216-1204

FAX:099-216-1207

2026 火山砂防フォーラム鹿児島島の開催

「火山を知り、火山とともに生きる」をテーマに、火山防災や砂防に係る啓発等を行う火山砂防フォーラムを鹿児島市で開催する。

【令和8年度 鹿児島開催概要】

- ①時 期:令和8年10月29日(木)～30日(金) (1日目:フォーラム、2日目:現地視察)
- ②会 場:宝山ホール(収容人数:1,502人)
- ③主 催:火山砂防フォーラム委員会(委員長は主催市長)〔後援:国土交通省、気象庁等〕
- ④参 加:自治体や関係機関、防災関係企業等
- ⑤内 容:火山災害に関する先進事例紹介等

【取組内容例】



基調講演



ロードスweeper実演



現地研修会

3 令和8年度の取組

(5) 桜島火山爆発総合防災訓練 (避難所体験・展示訓練)

中央・鴨池地区のみ

訓練概要

1 日 時

令和9年1月9日(土)午前9時30分～12時30分

※桜島白浜町住民は、午前8時過ぎから避難行動開始予定

2 実施場所

甲南高等学校（グラウンド・体育館・武道館）

※地域防災計画上の桜島住民の避難所ではないが、特に大量軽石火山灰降下の影響が大きい地域の住民へ広域避難等の周知を図る

3 参加者

- (1) 桜島住民 ※桜島武町
- (2) 甲南高校近隣住民・生徒
- (3) 一般来場者
- (4) 防災関係機関

4 訓練での取組

- (1) 住民に対する市街地側への大量降灰時における避難の説明
- (2) 避難所体験訓練 ※避難所運営に関する説明
- (3) 人命救助及び応急復旧に関する展示訓練
- (4) 自衛隊等による炊出し訓練等

桜島大規模噴火時の避難対策の説明

1 大規模噴火が迫った場合の桜島住民の島外避難

- ・警戒範囲が全島に拡大した場合の避難方法等について説明
※風向きによる代替避難所の説明も実施
- ・非常持出品の準備やペット避難について周知

2 大規模噴火が迫った場合の市街地側住民の避難

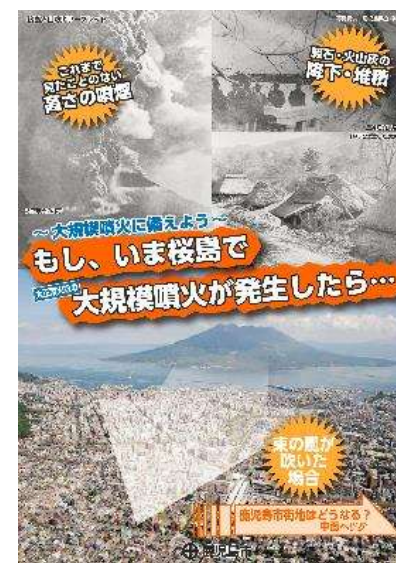
- ・桜島火山防災リーフレットに基づき、広域避難等の説明



▲住民への説明の様子



▲住民避難マニュアル



▲桜島火山防災リーフレット

避難所体験訓練

1 避難所運営に関する説明

- ・大規模災害時における住民主体の避難所運営について、実際の被災地の事例等を交えて説明

2 住民による避難所体験

- ・災害時の避難所生活について、関係団体等各ブースで展示や支援内容等を住民に対し説明

【内容】

①パネル展示、活動内容等の紹介

⇒関係団体等による支援が体系的に理解しやすくなり住民の安心感につながる。

②避難所資機材、備蓄物資等の紹介

⇒実物を目にし、体感することで避難所での生活を具体的にイメージでき、住民の関心が高まる。



▲避難所運営に関する説明の様子



▲住民への健康相談の様子

火山防災教育

今回の訓練会場である吉野中学校の生徒に対して、噴火の現象や桜島大正噴火の被害、大規模噴火への備え等について、火山防災教育を実施した。



展示訓練（グラウンド）の様子



ドローン減災士協会



総務省 鹿児島行政監視行政相談センター



大隅河川国道事務所



鹿児島市水道局・管工事協同組合

展示訓練（武道館）・炊出し訓練の様子



鹿児島県警察本部・鹿児島市歯科医師会



日本赤十字社鹿児島県支部



鹿児島市消防局



炊出し訓練

まとめ

いつ起こるか分からない災害のために...

⇒ **日頃からの備え**が重要！
(情報収集手段の確認、備蓄品・非常時持出品など)

⇒ 地域の特性を把握し、近隣住民や地域のつながりによる**共助**の意識を高める！

本日の内容を地域の皆さんで共有をお願いします